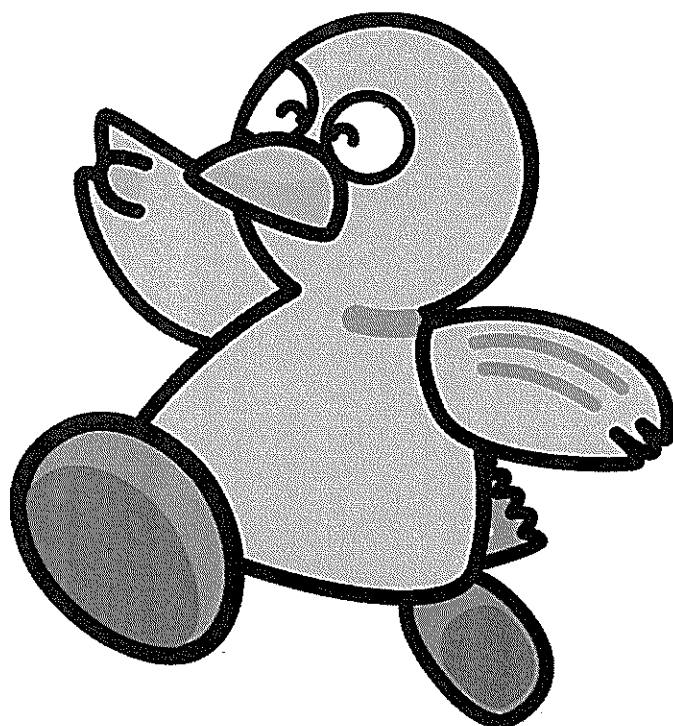


令和元年度 事業概要

〈平成30年度実績〉



埼玉県のマスコット コバトン

埼玉県狭山保健所

目 次

第1	総括	1
1	管内概況	1
2	所在地	1
3	世帯数と人口	1
4	所管区域	2
5	組織図	3
6	事務分掌	4
7	沿革	6
第2	事業	7
1	広域調整担当	7
(1)	健康危機管理	7
ア	健康危機管理研修の実施	7
イ	健康危機管理訓練の実施	7
(2)	医療提供体制の整備に係る調整	7
ア	所沢地区救急医療対策協議会	7
イ	小児救急輪番体制に関する調整会議	8
ウ	西部地域保健医療・地域医療構想協議会	8
(3)	医務支援	8
(4)	保健・医療・介護・福祉の連携	9
ア	福祉との連携	9
イ	専門職人材育成研修会	9
ウ	西部保健医療圏在宅医療検討会議	10
エ	飯能・日高地区ワールドカフェに参加	10
2	総務・地域保健推進担当	11
(1)	衛生関係免許	11
(2)	地域保健の推進	12
ア	医療供給体制	12
イ	実習	13
3	保健予防推進担当	14
(1)	母子保健・難病・栄養・健康づくり対策	14
ア	母子保健事業	14
イ	難病対策	18
ウ	原子爆弾被爆者援護に関する事務	29
エ	石綿健康被害救済給付申請	29
オ	栄養活動業務	30
カ	歯科保健対策事業	32
キ	健康づくり	33

(2) 精神保健福祉対策	37
ア 管内の精神保健福祉に関する状況	37
イ 精神保健福祉相談	37
ウ 専門相談	38
エ 法定提出書類受理・進達事務件数	38
オ 管内市精神保健福祉関係者研修	38
カ ひきこもり対策事業	39
キ 管内精神保健福祉担当者会議	39
ク 措置入院者退院後支援事業	40
ケ 精神障害者を地域で支えるシステム構築事業	40
コ 自殺対策事業	42
サ アルコール依存症本人・家族の集い	42
(3) 感染症対策	43
ア 届出数	43
イ 新型インフルエンザ対策	43
ウ 院内感染対策（薬剤耐性菌対策）	44
エ 麻しん対策	45
オ 性感染症予防の普及啓発事業	46
カ HIV、肝炎等相談・検査	46
キ 肝炎治療特別促進事業	47
ク 感染症予防の保健指導	47
(4) 結核対策	48
ア 定期健康診断実施状況	48
イ 結核管理健診、接触者健診実施状況	48
ウ 新規登録患者数	49
エ 感染症診査協議会診査件数	50
オ 結核患者登録者数（治療状況、市別）	51
カ 結核相談	51
キ 結核についての普及啓発	52
(5) 人材育成	53
研修及び調整会議	53
4 生活衛生・薬事担当	55
(1) 生活環境の確保	55
ア 衛生的な生活環境の確保	55
イ 飲料水の水質検査	57
ウ 動物の適正な飼育管理	58
(2) 食品の安全性の確保	61
ア 食品関係施設数（業種数）	61
イ 食品衛生法に基づく許可施設数（業種別）	61
ウ 条例に基づく許可施設数（業種数）	63

エ	食品衛生法及び条例の許可を要しない施設数	63
オ	食中毒発生状況	64
カ	食中毒関連調査	64
キ	食品衛生講習会	64
(3)	医薬品・血液等の安全確保	65
ア	薬務関係施設数及び監視状況	65
イ	献血推進事業	66
ウ	麻薬取扱者数	66
エ	麻薬等の廃棄	66
オ	麻薬・覚醒剤等薬物乱用防止推進事業	67
5	食品監視担当	68
(1)	食品監視業務	68
(2)	食品監視業務の概要	68
ア	食品監視業務	68
イ	監視時の違反食品等発見処理に関すること	68
ウ	食品等収去等試験検査（食品・項目別）	69
エ	収去時の違反食品等発見処理に関すること	70
オ	通報等に基づく食品関係営業施設の調査に関すること	70
カ	行政処分	70
キ	衛生教育	70
第3	統計資料（人口動態統計等）	71
1	人口の概況	71
(1)	管内人口の推移及び伸び率	71
(2)	管内人口ピラミッド	72
2	人口動態統計	73
(1)	人口動態総覧	73
(2)	出生	74
ア	出生率の年次推移（人口千対）	74
イ	出生時の体重別出生数	74
ウ	母の年齢別出生数	75
(3)	死亡	75
ア	死亡率の年次推移（人口千対）	75
イ	死因簡単分類別・市別死亡数	76
ウ	市別死因順位と割合	80
エ	乳児死亡率の年次推移（出生千対）	81
オ	新生児死亡率の年次推移（出生千対）	81
(4)	死産（死産率の年次推移：出産千対）	82
(5)	婚姻（婚姻率の年次推移：人口千対）	82
(6)	離婚（離婚率の年次推移：人口千対）	83
*	比率の解説	84

第1 総括

1 管内概況

狭山保健所の所管区域は、所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市の5市である。また、拠点保健所としての担当区域は、前記5市と東松山保健所管内の東松山市、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、ときがわ町、東秩父村の1市6町1村、坂戸保健所管内の坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町、鳩山町の2市3町である。

管内5市の面積は406.32 km²で、人口は780,197人、世帯数は352,650世帯である。(平成31年1月1日現在)

県全体に占める割合をみると、管内面積は10.7%、人口は10.6%となっている。

また、高齢化の進展状況を管内の総人口に対する65歳以上の高齢者人口比率で見ると28.4%となり、これは県全体の高齢者人口比率25.9%に対し2.5ポイント上回っている。(平成31年1月1日現在)

管内は、東京都に接する埼玉県南西部の首都近郊に位置しており、都市化の進行と農村の混在する地域である。武蔵野の面影を残す自然や史跡も多い。

都心から30km～60km圏域に位置しており、鉄道網は都心から西武池袋線、西武新宿線の各線が伸びており、それらの北西部をJR川越線と八高線が、南東側をJR武蔵野線が環状に結び、都内へ通勤、通学する県民の重要な足となっている。

主要な道路網としては、一般国道16号、299号、407号、463号、関越自動車道、首都圏中央連絡自動車道などが縦横に張り巡らされ、自動車交通の基幹的な動脈として役割を担っている。

管内の主な産業としては、製造業、サービス業、卸売・小売業の占める割合が高く、郊外への大型商業施設の進出もみられる。

その一方農業は開発による農地の減少が見られるものの、首都圏への生鮮野菜の生産・緑地空間の提供などの重要な役割を担っている。特に、茶、ほうれん草、さといも等の栽培がさかんで、県内でも有数の産地である。

2 所在地

所在地 狭山市稲荷山2丁目16番地1

交通 西武池袋線稲荷山公園駅下車 徒歩7分

3 世帯数と人口

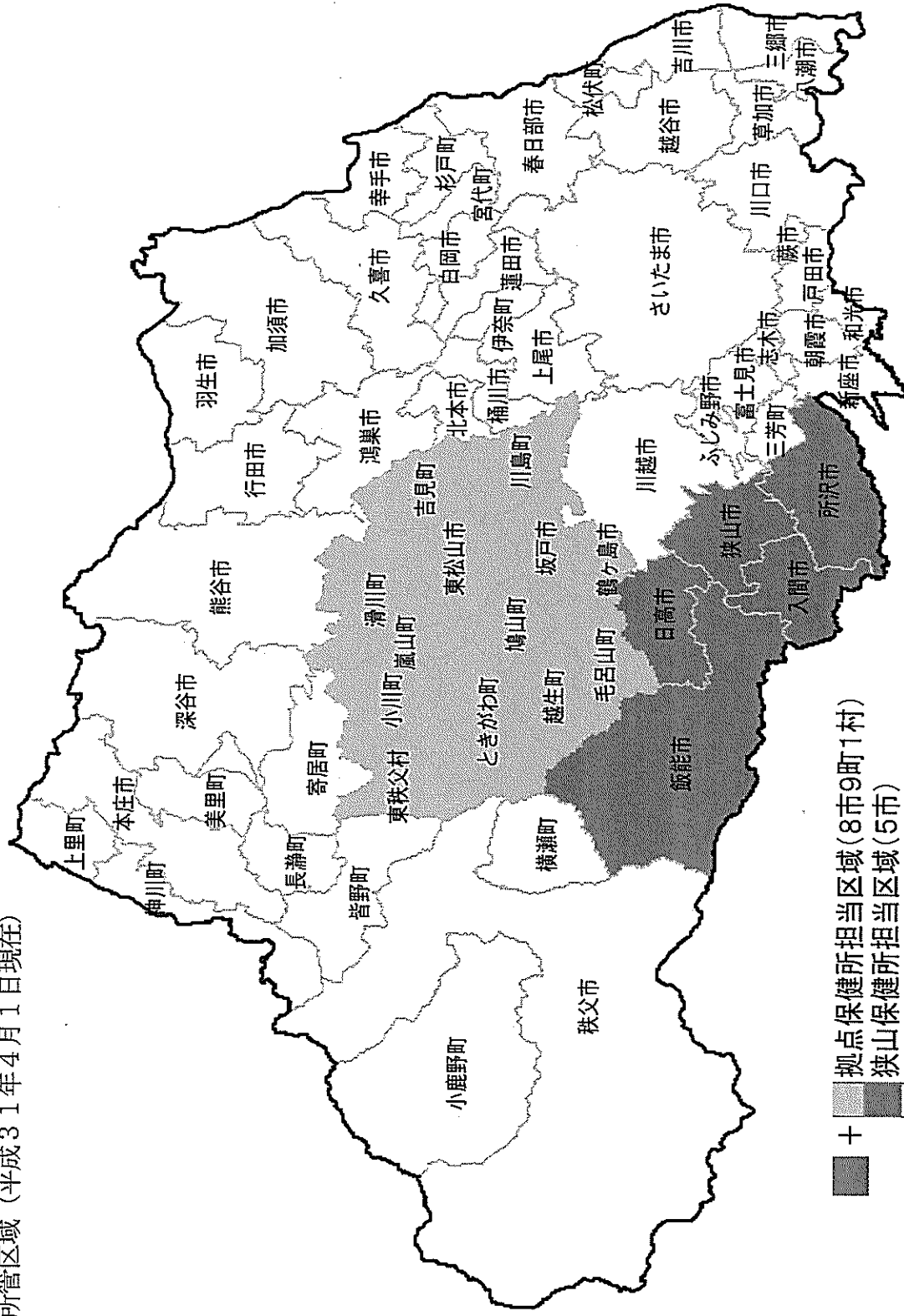
平成31年1月1日現在

	世帯数	人 口				面積 Km ²
		総 数	男	女	高齢者(65歳以上)	
埼 玉 県	3,305,884	7,377,199	3,692,771	3,684,428	1,909,244	3,797.75
狭山保健所	352,650	780,197	388,371	391,826	221,436	406.32
所 沢 市	159,629	344,320	170,699	173,621	91,272	72.11
飯 能 市	34,869	79,708	39,881	39,827	24,241	193.05
狭 山 市	68,798	151,661	76,122	75,539	46,327	48.99
入 間 市	65,314	148,442	73,709	74,733	41,876	44.69
日 高 市	24,040	56,066	27,960	28,106	17,720	47.48
(参考) 拠点管内 8市9町1村 計	546,427	1,221,798	609,482	612,316	355,083	923.72

*埼玉県町(丁)字別人口調査結果報告による。

*面積については、国土地理院「平成30年全国都道府県市町村別面積調」による。

4 所管区域 (平成31年4月1日現在)

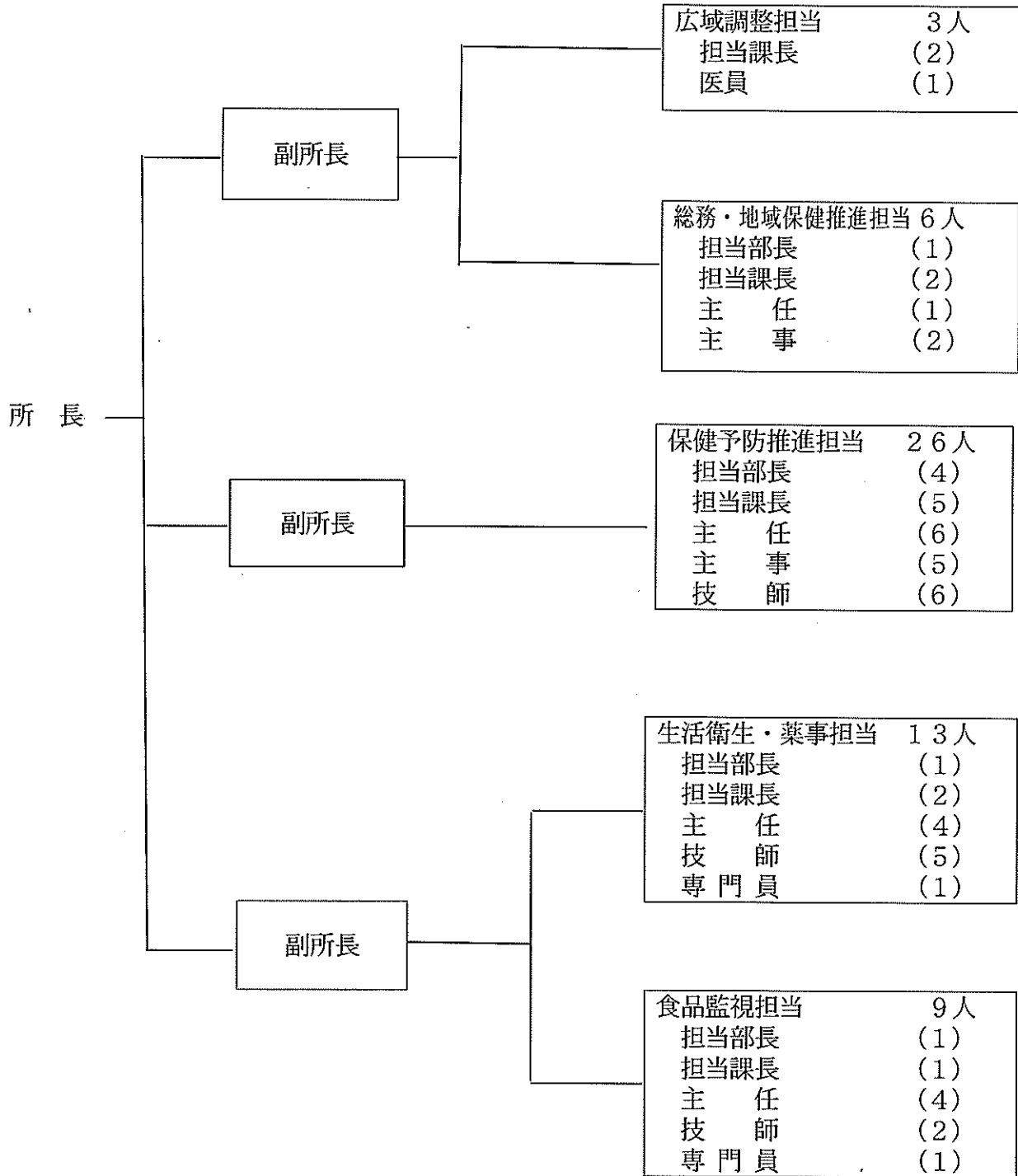


5 組織図

平成31年4月1日現在

職員数 61人

※ 育児休業代替職員1人を含む。



6 事務分掌

○広域調整担当

- 健康危機管理に係る情報等の収集、分析及び提供に関する事。
- 担当地域における健康危機管理の広域的な体制整備に関する事。
- 保健所職員への健康危機管理に係る情報提供、教育に関する事。
- 地域保健医療計画に基づく医師確保対策並びに保健所の所管区域をまたがる救急医療や地域医療連携など医療提供体制の整備に係る調整に関する事。
- 保健所の医事業務に対する支援及び医務担当者への専門的教育に関する事。
- 保健所が実施する医療機関への立入検査への支援に関する事。
- 保健・医療・介護・福祉の連携の推進及び関係機関のネットワークづくりに関する事。
- 地域保健に関する市支援の企画・調整に関する事。
- その他、各保健所の所管区域をまたがる広域的な連絡調整に関する事。

○総務・地域保健推進担当

- 人事、給与、服務、文書、公印、福利厚生等に関する事。
- 経理に関する事。
- 公有財産及び物品の取得、管理、処分に関する事。
- 調理師、栄養士等の免許等に関する事。
- 表彰に関する事。
- 人口動態統計その他地域保健に係る統計に関する事。
- 保健・医療・介護・福祉に係る情報等の収集、分析及び提供に関する事。
- 地域保健医療計画の推進に係る保健所内の調整に関する事。
- 病院等の許可、立入検査、医療安全相談等の医事に関する事。
- 臨床研修医、臨床研修歯科医の研修に関する事。
- 学生実習の受入れ調整に関する事。
- 広聴広報の調整に関する事。
- ホームページの運用に関する事。

○保健予防推進担当

- 健康づくりに関する事業の企画・実施に関する事。
- 健康相談の実施に関する事。
- 健康教育の企画・実施に関する事。
- 専門的母子保健に関する事。
- 専門的栄養指導、特定給食施設等に対する指導等の栄養改善に関する事。
- 栄養成分表示に関する事。
- 受動喫煙防止対策に関する事。
- 歯科保健に関する事。
- 精神保健福祉相談、精神障害者の社会復帰対策等の精神保健福祉に関する事。
- 難病対策及び被爆者の援護等に関する事。
- 結核・感染症対策に関する事。
- 健康増進、母子保健、栄養改善等に係る市事業に対する専門的かつ技術的支援等に関する事。
- 地域における保健医療・福祉・介護職等の多職種連携による地域包括ケアシステムの構築推進に関する事。

- 難病等に係るボランティアの育成に関すること。
- 児童虐待予防・防止に関すること。
- 不妊治療の支援に関すること。
- 肝炎治療の支援に関すること。
- 石綿健康被害対策に関すること。
- 公費負担医療給付の申請受理・支給に関すること。

○生活衛生・薬事担当

- 食品営業許可、食品営業施設等の監視又は指導並びに食中毒処理等の食品衛生に関すること。
- 食品関係営業者及び消費者の衛生教育等の企画・実施に関すること。
- 理容所、美容所、クリーニング所の確認及び旅館、公衆浴場、興行場の営業許可並びにそれらの監視・指導その他の環境衛生に関すること。
- 特定建築物の届出、建築物事業登録・監視・指導に関すること。
- 薬局等の許可及び監視・指導並びに医薬品等の適正使用に関すること。
- 麻薬取扱者の免許等及び監視・指導に関すること。
- 麻薬、覚醒剤等の薬物乱用防止に関すること。
- 献血の普及啓発、献血組織の育成及び献血受入れ体制の整備の促進に関すること。
- 毒物劇物営業者等の登録、届出及び監視並びに毒物劇物の適正管理に関すること。
- 狂犬病予防、犬の捕獲及び犬の引取り並びに犬の適正な飼養に関すること。
- 動物取扱業の登録、監視・指導等に関すること。
- 特定動物の許可、監視・指導等に関すること。
- 水道事業の認可等、水道施設の監視・指導及び水質検査等の飲用水の衛生確保に関すること。
- 温泉利用の指導に関すること。
- 遊泳用プールの指導に関すること。

○食品監視担当

- 営業施設等の専門的な監視及び指導に関すること。
- 営業者等からの報告の徴収に関すること。
- 営業施設等の立入検査に関すること。
- 食品等の収去に関すること。
- 営業停止等の行政処分（食中毒関係を除く。）に関すること。
- 食品関係営業者等の衛生教育の企画・実施に関すること。
- 営業施設等のHACCPに基づく衛生管理の指導に関すること

7 沿革

- 昭和62年 狭山保健所が新設され、管轄は狭山市、入間市の2市となる。
(10月1日)
- 平成18年 保健所の再編による機能強化を図るため、狭山保健所が廃止される。
廃止に伴い、狭山市及び入間市が所沢保健所の管轄区域に加わる。
旧狭山保健所は、所沢保健所保健予防担当狭山分室となる。(4月1日)
- 平成22年 保健所の広域的・専門的機能をより高めるために保健所再編を行い、
所沢保健所及び同狭山分室が廃止され、所沢市、飯能市、狭山市、入間市、
日高市の5市を管轄とする狭山保健所が設置される。(4月1日)

第2 事業

1 広域調整担当

(1) 健康危機管理

ア 健康危機管理研修の実施

1	西部保健医療圏災害時保健医療研修会（災害時保健医療調整会議）
実施日	平成31年1月10日
会場	狭山保健所大会議室
内容	講義：避難所におけるトイレ対応について 講師：特定非営利活動法人日本トイレ研究所 代表理事 加藤 篤 氏
出席者	市職員、県職員、災害拠点病院職員等 計 33人

イ 健康危機管理訓練の実施

1	通信訓練
実施日	平成30年8月24日
会場	狭山保健所
内容	坂戸保健所と衛星携帯電話等を使用して、通信訓練を実施した。
出席者	保健所職員 計 11人

2	シミュレーション訓練
実施日	平成30年12月7日
会場	狭山保健所大会議室
内容	管内の行政機関・病院等が参加する生物テロを想定した机上訓練 講師：国立保健医療科学院 健康危機管理研究部 部長 金谷 泰宏 氏 埼玉県南部保健所 医員 小林 祐介 氏
出席者	市職員、県職員、災害拠点病院職員等 計60人

3	停電時電源確保訓練
実施日	平成30年9月21日
会場	狭山保健所
内容	停電時の発電機操作訓練等の実施
出席者	保健所職員 計 8人

(2) 医療提供体制の整備に係る調整

ア 所沢地区救急医療対策協議会

所沢地区（所沢市、狭山市、入間市）における救急医療体制の円滑な運営、関係機関の連絡調整等、諸問題を協議するために設置され、狭山保健所が事務局を務めている。

協議会の委員は14名で、市、医師会、救急医療機関、消防本部、保健所の代表者である。

開催年月日・場所	内 容
平成31年2月22日 狭山保健所大会議室	1 埼玉県の救急医療等について 2 所沢地区の救急医療体制と実績について 出席者 14人（代理出席含む。）

イ 小児救急輪番体制に関する調整会議

開催年月日・場所	内 容
平成30年10月5日 狭山保健所大会議室	1 平成29年度所沢地区小児救急医療支援事業実績について 2 小児救急輪番体制に係る課題について 出席者 23人

ウ 西部地域保健医療・地域医療構想協議会

埼玉県地域保健医療計画及び埼玉県地域医療構想を推進するため、埼玉県西部地域保健医療・地域医療構想協議会を設置し、狭山保健所が事務局を務めている。

協議会の委員は27名で、医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院団体の代表、医療保険者の代表、市の職員、保健医療利用者の代表等である。

平成30年度の開催状況は、協議会の下部組織である地域医療構想作業部会も含め以下のとおりである。

開催年月日・場所	内 容
① 平成30年9月4日 狭山保健所大会議室 (協議会及び作業部会)	・会長・副会長の選出について ・病床機能報告(データ分析)について ・圏域内各病院の状況説明について ・病床整備計画の公募について ・病床機能転換に関する補助事業について 委員出席者 24人(21人) ※代理出席含む。()内は作業部会委員
② 平成30年11月16日 狭山保健所大会議室 (作業部会)	・病院整備計画の公募について 委員出席者 24人 ※代理出席含む。
③ 平成31年3月14日 狭山保健所大会議室 (協議会及び作業部会)	・第7次地域保健医療計画・西部保健医療圏の圏域別取組の進捗状況について ・今後の病院整備計画について 出席者 27人(24人) ※代理出席含む。()内は作業部会委員

(3) 医務支援

医療機関への立入検査の支援を、狭山保健所及び拠点保健所管内で43回行った。また、管内保健所の医務担当職員の資質向上を目的として研修会を開催した。

1	医務担当者研修会
実施日	平成30年10月19日
会 場	川越地方庁舎3階中会議室B
内 容	演題 立入検査マニュアルの活用について 講師 埼玉県坂戸保健所 担当課長 佐野 雅彦 氏
出席者	保健所職員 計13人

(4) 保健・医療・介護・福祉の連携

ア 福祉との連携

1	福祉施設におけるノロウイルス感染防止研修会
実施日	平成30年10月10日
会場	埼玉県衛生研究所大会議室
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・演題 福祉施設におけるノロウイルス感染対策 講師 埼玉県衛生研究所 担当部長 内田 和江 氏 ・報告 高齢者施設における感染症対策 ～感染性胃腸炎、インフルエンザを中心として～ 報告者 埼玉県狭山保健所 医員 藤野 智史
出席者	福祉施設職員等 計74人

イ 専門職人材育成研修会

管内病院及び介護施設の院内感染症対策の向上を目的として実施した。

1	感染症対策セミナー
実施日	平成30年9月20日
会場	埼玉石心会病院アゼリアホール
内容	<ul style="list-style-type: none"> 演題 薬剤耐性菌対策について ～地域での対応も含めて～ 講師 埼玉医科大学国際医療センター感染症科・感染制御科 教授 光武 耕太郎 氏
出席者	管内病院等の医師、薬剤師、看護師等 計122人

2	介護施設における薬剤耐性菌対策研修会
実施日	平成31年2月28日
会場	狭山保健所大会議室
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 介護施設における薬剤耐性菌対策 ～安心して施設で受け入れるために～ 講師 埼玉石心会病院 感染管理認定看護師 須田 江津子 氏 ・報告 介護施設における薬剤耐性菌保菌者に関するアンケート結果報告 報告者 埼玉県狭山保健所 医員 藤野 智史 ・意見交換 施設における感染症対策の現状や課題等 助言者 独立行政法人国立病院機構西埼玉中央病院 感染管理認定看護師・感染症看護専門看護師 坂木 晴世 氏
出席者	管内介護施設職員 計35人

ウ 西部保健医療圏在宅医療検討会議

在宅医療・介護連携の推進を図るため、次のとおり開催した。

1	西部保健医療圏在宅医療検討会議
実施日	平成30年11月29日
会場	狭山保健所大会議室
内容	・在宅医療・介護連携推進事業について ・狭山保健所での在宅医療・介護連携推進事業について
出席者	市職員、在宅医療連携拠点職員等 計21人

エ 飯能・日高地区ワールドカフェに参加

飯能市・日高市の行政、医師会、薬剤師会、地域包括支援センターなどの多職種による役員会に狭山保健所も役員として参加し、多職種の交流を推進。役員会は隔月に開催され、年6回参加した。イベント等が2回実施され参加した。

2 総務・地域保健推進担当

(1) 衛生関係免許

衛生関係知事免許に関する事項の登録及び免許証の交付・書換事務を実施している。また、厚生労働大臣免許については、免許申請等の受付を行っている。

平成30年度衛生関係免許申請受付件数

	免許種別	新規・登録	訂正・書換	再交付	抹消・消除	計
埼玉県知事免許	調理師	147	29	28	1	205
	製菓衛生師	12	0	0	0	12
	クリーニング師	7	0	0	0	7
	准看護師	133	31	15	0	179
	栄養士	49	39	5	0	93
	登録販売者	59	9	2	0	70
	旧保健婦	—	0	0	0	0
	旧助産婦	—	0	0	0	0
	旧看護婦	—	0	0	0	0
	診療X線技師	—	0	0	0	0
	小計	407	108	50	1	566
事都道府県知	准看護師	—	6	2	0	8
	旧保健婦	—	0	0	0	0
	旧助産婦	—	0	0	0	0
	旧看護婦	—	0	0	0	0
	小計	—	6	2	0	8
厚生労働大臣免許	医師	54	18	3	2	77
	歯科医師	8	0	0	0	8
	薬剤師	80	31	4	2	117
	管理栄養士	62	29	1	0	92
	保健師	64	46	1	0	111
	助産師	9	5	1	0	15
	看護師	361	191	18	0	570
	診療放射線技師	22	2	0	0	24
	臨床検査技師	35	17	0	0	52
	衛生検査技師	0	0	0	0	0
	理学療法士	69	16	0	0	85
	作業療法士	17	16	3	0	36
	視能訓練士	4	1	0	0	5
	歯科技工士	0	0	0	0	0
小計	785	372	31	4	1,192	
合計	1,192	486	83	5	1,766	

(2) 地域保健の推進

ア 医療供給体制

(ア) 医療施設等の状況

a 病院、診療所、歯科診療所、助産所、歯科技工所、衛生検査所数 平成31年3月31日現在

	病院										診療所			歯科診療所	助産所	歯科技工所	衛生検査所
	合計		内訳								施設数	有床	病床数				
	施設数	病床数	一般病床		療養病床		精神病床		感染症病床								
			施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数							
所沢市	24	4,240	15	1,980	10	1,435	6	816	1	9	224	8	90	163	14	42	1
飯能市	8	1,652	4	360	2	414	4	878	-	-	46	5	73	39	3	11	-
狭山市	11	2,077	8	1,055	4	449	3	573	-	-	80	4	61	73	2	14	-
入間市	8	903	9	549	3	140	2	214	-	-	67	5	69	68	4	17	1
日高市	3	935	3	845	1	90	-	-	-	-	23	2	31	20	2	14	-
計	54	9,807	39	4,789	20	2,528	15	2,481	1	9	440	24	324	363	25	98	2

注) 病院の病床数は、開設許可を与えた病床数である。休止している医療施設等を含む。

b 柔道整復、あんま・はり・きゅうの施術所数

平成31年3月31日現在

	施術所	左記以外の出張専業	
		柔道整復 施術所数	あんま・はり・きゅう 施術所数
飯能市	70	26	44
狭山市	148	63	85
入間市	146	67	79
日高市	53	24	29
計	417	180	237

注) 休止を含む。1つの施術所で柔道整復とあんま・はり・きゅうの両方の区分に属するものがある。

(イ) 医療機関等の許可・届件数

	開設許可	開設届開始届	使用許可	変更許可	変更届	廃止届死亡届	休止届	再開届	開設許可取消
病院	2	0	45	80	18	1	0	0	0
診療所	83	92	1	9	64	90	3	1	0
歯科診療所	4	10	0	3	24	11	1	0	0
助産所	0	0	0	0	3	2	0	0	0
歯科技工所	-	1	-	-	3	2	-	-	-
施術所	-	27	-	-	62	19	2	0	-
出張専業	-	8	-	-	1	8	-	-	-
衛生検査所	-	-	-	-	3	0	-	-	-
計	89	138	46	92	178	133	6	1	-

(ウ) 医療施設への立入検査等

医療施設の構造等が、医療法その他の法令上の基準を満たしているかの検査を主な目的とする使用前検査を、病院を対象に18回、診療所を対象に1回行った。

また、適切な医療の供給体制の確認を主な目的とする医療法第25条に基づく立入検査を、病院及び有床診療所を対象に行った。

- ・実施期間 平成30年6月から平成31年2月
- ・実施施設 病院 55施設
有床診療所 8施設

(エ) 医療従事者数

(平成28年12月31日現在)

	埼玉県	所沢市	飯能市	狭山市	入間市	日高市	管内
医師	12,172	853	83	284	116	349	1,685
歯科医師	5,293	244	49	98	93	38	522
薬剤師	15,100	702	108	322	214	143	1,489
保健師	2,067	87	26	61	29	20	223
助産師	1,573	74	12	33	14	6	139
看護師	46,416	2,398	492	1,152	571	1,128	5,741
准看護師	14,435	612	333	471	303	116	1,835
歯科衛生士	5,821	253	55	115	84	29	536
歯科技工士	1,153	38	7	16	19	10	90

※平成28年三師等調査による

イ 実習

(ア) 学生実習の受入

区分	受入校	人数
看護学生	西埼玉中央病院附属看護学校	34人
	入間看護専門学校	39人
保健師学生	日本医療科学大学保健医療学部	7人
	東京家政大学健康科学部	6人
	埼玉医科大学保健医療学部	6人
	防衛医科大学校医学教育部	30人
栄養士学生	女子栄養大学栄養学部	3人
	十文字学園女子大学人間生活学部	3人
	東洋大学食環境科学部	2人
医学生	新潟大学医学部	2人
	埼玉医科大学	26人

(イ) 医師臨床研修の受入

埼玉医科大学国際医療センター 1人

(ウ) 歯科医師臨床研修の受入

明海大学歯学部附属明海大学病院 3人

3 保健予防推進担当

(1) 母子保健・難病・栄養・健康づくり対策

ア 母子保健事業

(ア) 医療給付

a 小児慢性特定疾病医療給付

(事業開始 昭和46年～・根拠法令 児童福祉法第19条第2)

平成26年5月30日に「児童福祉法の一部を改正する法律(平成26年法律第47号)」が公布され、平成27年1月1日から新たな小児慢性特定疾病医療費助成制度を実施している。

平成30年度は対象を2疾患群及び34疾病追加し、756疾病(16疾患群)に拡大した。

小児慢性特定疾病医療給付受給者数 (平成30年度)

	疾患群	管内計	所沢市	飯能市	狭山市	入間市	日高市
1	悪性新生物	88	45	8	11	16	8
2	慢性腎疾患	53	23	8	12	8	2
3	慢性呼吸器疾患	32	9	4	3	8	8
4	慢性心疾患	205	82	22	42	43	16
5	内分泌疾患	163	63	18	31	37	14
6	膠原病	34	19	2	5	7	1
7	糖尿病	46	15	3	11	12	5
8	先天性代謝異常	12	3	5	0	2	2
9	血液疾患	27	10	7	4	2	4
10	免疫疾患	9	4	0	0	5	0
11	神経・筋疾患	54	26	6	5	11	6
12	慢性消化器疾患	34	16	4	7	6	1
13	染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	20	7	3	8	2	0
14	皮膚疾患	2	2	0	0	0	0
15	骨系統疾患	9	4	0	1	3	1
16	脈管系疾患	2	1	0	1	0	0
	合計	790	329	90	141	162	68

給付対象者数の推移

	管内計
平成30年度	790
平成29年度	783
平成28年度	777

b 不妊治療費助成事業

(事業開始 平成16年～・根拠法令 少子化社会対策基本法第13条第2項)

平成28年度から初回治療開始時の妻の年齢により通算助成回数が決められ、初回申請分の助成上限額の拡充が始まった。男性不妊治療費については特定不妊治療(体外受精・顕微

授精)の一環として実施した治療を対象としている。

平成 29 年度から、2 人目以降特定不妊治療費助成事業を埼玉県単独事業として開始した。出生ごと 1 回目に受けた助成の治療開始時の妻の年齢により助成回数を定めるもので、国制度の不妊治療費助成の回数を超えて対象とするものである。

不妊治療費助成給付状況 (国制度)

市町名	所沢市	飯能市	狭山市	入間市	日高市	計
件数	387	51	105	159	57	759

(再掲) 男性不妊治療費助成給付状況

市町名	所沢市	飯能市	狭山市	入間市	日高市	計
件数	2	0	0	1	0	3

2 人目以降特定不妊治療費助成給付状況 (埼玉県単独)

市町名	所沢市	飯能市	狭山市	入間市	日高市	計
件数	9	5	2	1	1	18

c 療育医療 (事業開始 昭和 29 年～・根拠法令 児童福祉法第 20 条)

結核にかかった児童に対し、医療の給付とともに、入院中の学校教育や療養生活の指導を行う。平成 30 年度の給付は 0 件。

d 妊娠中毒症等療養援護費 (根拠規程 埼玉県妊娠中毒症等療養援護費支給要領)

妊娠中毒症 (妊娠高血圧症候群) 等により患した妊産婦が、必要な医療を受けるために入院した場合、その療養に要する費用の一部を支給する。平成 30 年度の支給は 0 件。

e 受胎調節実施指導員 (根拠法令 母体保護法第 15 条第 1 項)

助産師、保健師または看護師であり、都道府県知事の認定する講習を修了した者が申請。申請に基づき知事が指定する。平成 30 年度の申請は 1 件。

(イ) 母子保健指導等

a 家庭訪問

保健所保健師が母子保健における家庭訪問指導を行った。

	妊婦	産婦	新生児	未熟児	乳児 (未熟児を除く)	幼児	その他	総数
実人数	0	2	0	1	3	6	6	18
延人数	0	2	0	3	3	8	6	22

b 面接・電話相談

保健所保健師が随時、相談対応している。

面接件数

	妊産婦	乳児	幼児	就学以降	総数
実人数	0	12	13	12	37
延人数	0	13	14	16	43

電話件数

電話相談延人数	1639
---------	------

c ケース検討への出席

実件数	4
延件数	4

(ウ) 母子保健体制整備強化事業等

a 保健所別母子保健連携調整会議

管内の母子保健体制整備の推進を目的に、各事業に関する意見交換及び研修等を実施した。

日 時	内 容	参加者・人数
平成30年5月31日 14:30～16:45	研修 「産後の母親のメンタルヘルス支援について」 講師 きむらメンタルクリニック医師 木村武登氏	管内市母子保健担当者、 新生児訪問担当助産師 等、当所職員 55人
平成30年6月6日 14:00～16:30	会議 (1) 情報交換 「平成30年度新規事業及び各事業の工夫について」 (2) 意見交換 「狭山保健所管内母子保健の指標項目について」	管内市母子保健担当者、 当所職員 13人
平成30年10月16日 13:30～16:30	研修 「産後の母親のメンタルヘルス支援 ～実践編～」 EPDS等のロールプレイ及びグループワーク	管内市母子保健担当者、 新生児訪問担当助産師 等、当所職員 21人
平成31年2月26日 9:30～12:00	会議 情報交換・意見交換 ・狭山保健所管内虐待予防に関する母子保健の指標 について 報告 ・在宅療養児子育て交流会について	管内市母子保健担当者、 当所職員 15人

b ふれあい親子支援事業担当者会議

市の児童福祉関係者及び母子保健関係者を対象に、隔月で虐待予防のための親支援に関する研修として、事例検討を実施した。

実施回数	4月から隔月開催で6回実施
対 象 者	管内保健センター保健師、児童福祉担当課職員、施設職員、児童相談所職員
参加人数	延109人
内 容	管内各市の母子事例に対する事例検討 助言者：精神科医 駒井秀次氏、臨床心理士 小笠原美江氏

c 在宅療養児の子育て交流会

小児慢性特定疾患重症認定児等を養育する保護者が、情報交換を通して不安や困難感の共有・共感と困り事の解決の糸口を見いだすことを目的に交流会を開催した。

日時・会場	平成30年 5月26日(土) 10時～12時 入間市元気キッズ 平成30年 9月 8日(土) 10時～12時 狭山市立青い実学園
対 象	小児慢性特定疾患医療給付受給児のうち、主として重症認定を受けている児とその家族、保健・福祉関係機関職員等
参加人数	保護者10人、子9人(うち兄弟1人)、関係者32人
内 容	情報交換等 *保育は別室で実施

d 小児・思春期精神保健推進事業

小児・思春期の心の問題は、複雑で広範囲にわたり、保健、医療、福祉、教育、民間団体など多くの機関が連携しての対応が求められる問題である。

このため、関係機関のネットワーク体制の整備の推進と、これによる次代を担う児童の健全育成を目的として研修会を実施した。

子どもの心の問題に関する研修会

実施日時	内容及び参加者
平成31年2月7日(木) 13:30～16:00	講 演：思春期の心の問題について考える ～学校の先生だからできること～ 講 師：新泉こころのクリニック 院長 朝倉・新 氏 参加者：管内各市児童福祉主管課、保健センター(母子保健担当)、管内小・中学校、高等学校教諭及び養護教諭 等 43人

e 子どもの心の健康相談

小児・思春期の心の問題があると思われる児童、またはその児童に関わる関係者を対象に、小児精神保健医療に関する専門相談を実施した。

	実施回数	延相談 件 数
医師相談	6	8
心理相談	6	9
合 計	12	17

f 妊娠期からの虐待予防強化事業

医療機関と地域保健機関等が連携し、周産期の段階から支援が必要と判断される家庭を積極的に把握・訪問支援等を行い、早期に育児不安等の軽減を図ることで虐待の予防を図っている。平成28年度からは、県内全産婦人科医療機関及び助産所の協力により、事業拡充された。

保健所においては、市町村等と医療機関の連携強化を目的に看護連携会議を実施した。

(a) 看護連携会議

日 時	内 容	参加者・人数
平成30年11月26日 14:00～16:30	・報告 妊娠期からの虐待予防強化 事業実績等について ・情報提供 各機関における虐待予 防取り組みや課題について ・情報提供 所沢児童相談所におけ る相談状況について 所沢児童相談所 副所長 南和彦氏	管内市母子保健担当者、管内 市児童福祉担当者、管内産科 医療機関等 32人
平成31年3月11日 14:30～16:30	・事例紹介及びミニ講座 「相談者に寄り添う支援について」 助言者 カウンセリングルームベア 臨床心理士 田熊喜代巳氏	管内市母子保健担当者、管内 市児童福祉担当者、管内産科 医療機関等 34人

(b) 養育支援連絡票受理状況

	所沢市	飯能市	狭山市	入間市	日高市	計
受理延件数	166	39	61	49	32	347

g 事例検討会

相談援助を行う関係職員の相談援助技術のスキルアップを目的に事例検討会を開催した。

実施日時	内容及び参加者
平成31年3月8日 14:00～16:45	内 容：講義及び模擬事例検討 助言者：菊池臨床心理オフィス 臨床心理士 菊池礼子氏 参加者：16人

イ 難病対策

(ア) 指定難病等の医療給付制度

平成27年1月1日から「難病の患者に対する医療等に関する法律」（難病法）が施行され、新たな難病医療費助成制度が確立された。原因不明で治療方法が確定していない、いわゆる難病のうち、厚生労働大臣が指定する「指定難病」、「特定疾患治療研究事業の対象である特定疾患（スモン等4疾患、先天性血液凝固因子欠乏症等）」、「県単独指定難病（4疾患）」について医療給付を行っている。なお、指定難病の対象疾患は平成30年4月1日現在331疾患である。

a 指定難病に係る医療給付制度 認定件数（平成31年3月31日現在）

No.	疾患名	管内計	所沢市	飯能市	狭山市	入間市	日高市
1	球脊髄性筋萎縮症	9	3	2	3	1	0
2	筋萎縮性側索硬化症	58	22	9	18	6	3
3	脊髄性筋萎縮症	4	1	0	3	0	0

No.	疾患名	管内計	所沢市	飯能市	狭山市	入間市	日高市
4	原発性側索硬化症	0	0	0	0	0	0
5	進行性核上性麻痺	57	21	8	18	9	1
6	パーキンソン病	863	364	74	221	155	49
7	大脳皮質基底核変性症	11	3	0	3	2	3
8	ハンチントン病	2	1	0	0	1	0
9	神経有棘赤血球症	0	0	0	0	0	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	4	3	0	1	0	0
11	重症筋無力症	170	76	22	35	26	11
12	先天性筋無力症候群	0	0	0	0	0	0
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	137	79	10	21	19	8
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／ 多巣性運動ニューロパチー	32	18	3	8	3	0
15	封入体筋炎	3	1	1	1	0	0
16	クロウ・深瀬症候群	1	1	0	0	0	0
17	多系統萎縮症（MSA）	68	21	10	15	18	4
18	脊髄小脳変性症（多系統萎縮症を除く。）	166	67	23	29	41	6
19	ライソゾーム病	8	4	1	2	0	1
20	副腎白質ジストロフィー	0	0	0	0	0	0
21	ミトコンドリア病	6	2	1	3	0	0
22	もやもや病	63	26	8	8	12	9
23	プリオン病	1	1	0	0	0	0
24	亜急性硬化性全脳炎	0	0	0	0	0	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	0	0	0	0	0
26	HTLV-1 関連脊髄症	1	0	0	0	0	1
27	特発性基底核石灰化症	1	1	0	0	0	0
28	全身性アミロイドーシス	12	7	0	2	2	1
29	ウルリッヒ病	0	0	0	0	0	0
30	遠位型ミオパチー	1	0	0	1	0	0
31	ベスレムミオパチー	0	0	0	0	0	0
32	自己食空胞性ミオパチー	0	0	0	0	0	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	0	0	0	0	0
34	神経線維腫症	28	12	2	5	4	5
35	天疱瘡	22	8	0	3	6	5
36	表皮水疱症	1	0	0	0	1	0
37	膿疱性乾癬（汎発型）	8	4	0	1	2	1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	0	0	0	0	0
39	中毒性表皮壊死症	0	0	0	0	0	0
40	高安動脈炎	39	18	2	11	6	2
41	巨細胞性動脈炎	6	1	0	2	3	0
42	結節性多発動脈炎	14	5	5	3	1	0
43	顕微鏡的多発血管炎	69	36	11	8	6	8
44	多発血管炎性肉芽腫症	20	7	1	4	6	2

No.	疾患名	管内計	所沢市	飯能市	狭山市	入間市	日高市
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	21	6	0	6	6	3
46	悪性関節リウマチ	37	14	6	3	11	3
47	パージャール病	9	3	0	3	2	1
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	2	1	0	1	0	0
49	全身性エリテマトーデス	424	185	50	84	81	24
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	151	58	15	36	32	10
51	全身性強皮症	200	75	32	51	26	16
52	混合性結合組織病	66	24	10	9	12	11
53	シェーグレン症候群	82	38	6	23	11	4
54	成人スチル病	17	10	0	3	3	1
55	再発性多発軟骨炎	2	1	0	1	0	0
56	ベーチェット病	105	41	8	30	18	8
57	特発性拡張型心筋症	90	39	11	16	19	5
58	肥大型心筋症	20	11	1	5	2	1
59	拘束型心筋症	0	0	0	0	0	0
60	再生不良性貧血	53	23	9	11	9	1
61	自己免疫性溶血性貧血	14	7	2	0	4	1
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	3	1	0	1	1	0
63	特発性血小板減少性紫斑病	78	29	10	15	20	4
64	血栓性血小板減少性紫斑病	1	0	0	0	0	1
65	原発性免疫不全症候群	12	4	0	5	3	0
66	IgA 腎症	31	18	1	5	5	2
67	多発性嚢胞腎	69	34	7	10	15	3
68	黄色靭帯骨化症	40	13	4	7	14	2
69	後縦靭帯骨化症	199	96	24	30	36	13
70	広範脊柱管狭窄症	32	9	5	9	5	4
71	特発性大腿骨頭壊死症	85	31	8	13	25	8
72	下垂体性 ADH 分泌異常症	16	9	1	4	1	1
73	下垂体性 TSH 分泌亢進症	0	0	0	0	0	0
74	下垂体性 PRL 分泌亢進症	9	4	1	1	2	1
75	クッシング病	2	2	0	0	0	0
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0	0	0	0	0	0
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	24	9	1	5	7	2
78	下垂体前葉機能低下症	105	46	10	16	18	15
79	家族性高コレステロール血症 (ホモ接合体)	1	0	0	1	0	0
80	甲状腺ホルモン不応症	0	0	0	0	0	0
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	2	2	0	0	0	0
82	先天性副腎低形成症	1	1	0	0	0	0
83	アジソン病	0	0	0	0	0	0
84	サルコイドーシス	91	40	5	16	24	6
85	特発性間質性肺炎	102	49	9	21	12	11
86	肺動脈性肺高血圧症	14	5	0	3	3	3

No.	疾患名	管内計	所沢市	飯能市	狭山市	入間市	日高市
87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0	0	0	0	0	0
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	30	16	1	6	6	1
89	リンパ脈管筋腫症	4	3	0	1	0	0
90	網膜色素変性症	124	51	13	33	24	3
91	バッド・キアリ症候群	0	0	0	0	0	0
92	特発性門脈圧亢進症	4	3	0	0	1	0
93	原発性胆汁性肝硬変	183	75	15	26	50	17
94	原発性硬化性胆管炎	7	2	1	2	1	1
95	自己免疫性肝炎	30	12	7	4	5	2
96	クローン病	229	109	12	40	45	23
97	潰瘍性大腸炎	742	363	92	112	127	48
98	好酸球性消化管疾患	3	0	2	1	0	0
99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0	0	0	0	0	0
100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0	0	0	0	0	0
101	腸管神経節細胞減少症	0	0	0	0	0	0
102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0	0	0	0	0	0
103	CFC 症候群	0	0	0	0	0	0
104	コステロ症候群	0	0	0	0	0	0
105	チャーシ症候群	0	0	0	0	0	0
106	クリオピリン関連周期熱症候群	0	0	0	0	0	0
107	全身型若年性特発性関節炎	4	1	1	0	2	0
108	TNF 受容体関連周期性症候群	0	0	0	0	0	0
109	非典型溶血性尿毒症症候群	0	0	0	0	0	0
110	ブラウ症候群	0	0	0	0	0	0
111	先天性ミオパチー	1	1	0	0	0	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	0	0	0	0	0
113	筋ジストロフィー	17	5	1	7	4	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	0	0	0	0	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	0	0	0	0	0
116	アトピー性脊髄炎	0	0	0	0	0	0
117	脊髄空洞症	6	2	1	1	1	1
118	脊髄髄膜瘤	0	0	0	0	0	0
119	アイザックス症候群	0	0	0	0	0	0
120	遺伝性ジストニア	1	1	0	0	0	0
121	神経フェリチン症	0	0	0	0	0	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	0	0	0	0	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	1	0	0	0	1	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	0	0	0	0	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	1	1	0	0	0	0

No.	疾患名	管内計	所沢市	飯能市	狭山市	入間市	日高市
126	ペリー症候群	0	0	0	0	0	0
127	前頭側頭葉変性症	6	4	0	0	2	0
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	0	0	0	0	0	0
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	1	0	0	1	0	0
130	先天性無痛無汗症	0	0	0	0	0	0
131	アレキサンダー病	0	0	0	0	0	0
132	先天性核上性球麻痺	0	0	0	0	0	0
133	メビウス症候群	0	0	0	0	0	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	0	0	0	0	0
135	アイカルディ症候群	0	0	0	0	0	0
136	片側巨脳症	0	0	0	0	0	0
137	限局性皮質異形成	0	0	0	0	0	0
138	神経細胞移動異常症	0	0	0	0	0	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	0	0	0	0	0
140	ドラベ症候群	0	0	0	0	0	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	0	0	0	0	0
142	ミオクロニー欠伸てんかん	0	0	0	0	0	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	0	0	0	0	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	0	0	0	0	0
145	ウエスト症候群	0	0	0	0	0	0
146	大田原症候群	0	0	0	0	0	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	0	0	0	0	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	1	1	0	0	0	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	0	0	0	0	0
150	環状 20 番染色体症候群	0	0	0	0	0	0
151	ラスムッセン脳炎	0	0	0	0	0	0
152	PCDH19 関連症候群	0	0	0	0	0	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	0	0	0	0	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	0	0	0	0	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	0	0	0	0	0
156	レット症候群	0	0	0	0	0	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	0	0	0	0	0
158	結節性硬化症	2	2	0	0	0	0
159	色素性乾皮症	2	1	0	1	0	0
160	先天性魚鱗癬	3	3	0	0	0	0
161	家族性良性慢性天疱瘡	1	1	0	0	0	0
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	15	8	2	3	2	0
163	特発性後天性全身性無汗症	1	0	0	1	0	0
164	眼皮膚白皮症	0	0	0	0	0	0

No.	疾患名	管内計	所沢市	飯能市	狭山市	入間市	日高市
165	肥厚性皮膚骨膜炎	0	0	0	0	0	0
166	弾性線維性仮性黄色腫	1	0	1	0	0	0
167	マルファン症候群	5	1	0	1	3	0
168	エーラス・ダンロス症候群	0	0	0	0	0	0
169	メンケス病	0	0	0	0	0	0
170	オクシピタル・ホーン症候群	0	0	0	0	0	0
171	ウィルソン病	2	1	0	1	0	0
172	低ホスファターゼ症	0	0	0	0	0	0
173	VATER 症候群	0	0	0	0	0	0
174	那須・ハコラ病	0	0	0	0	0	0
175	ウィーバー症候群	0	0	0	0	0	0
176	コフィン・ローリー症候群	0	0	0	0	0	0
177	有馬症候群	0	0	0	0	0	0
178	モワット・ウィルソン症候群	0	0	0	0	0	0
179	ウィリアムズ症候群	0	0	0	0	0	0
180	ATR-X 症候群	0	0	0	0	0	0
181	クルーゾン症候群	1	0	0	0	1	0
182	アペール症候群	0	0	0	0	0	0
183	ファイファー症候群	0	0	0	0	0	0
184	アントレー・ビクスラー症候群	0	0	0	0	0	0
185	コフィン・シリス症候群	0	0	0	0	0	0
186	ロスムンド・トムソン症候群	0	0	0	0	0	0
187	歌舞伎症候群	0	0	0	0	0	0
188	多脾症候群	0	0	0	0	0	0
189	無脾症候群	0	0	0	0	0	0
190	鰓耳腎症候群	0	0	0	0	0	0
191	ウェルナー症候群	0	0	0	0	0	0
192	コケイン症候群	0	0	0	0	0	0
193	プラダー・ウィリ症候群	0	0	0	0	0	0
194	ソトス症候群	0	0	0	0	0	0
195	ヌーナン症候群	0	0	0	0	0	0
196	ヤング・シンプソン症候群	0	0	0	0	0	0
197	1p36 欠失症候群	0	0	0	0	0	0
198	4p 欠失症候群	0	0	0	0	0	0
199	5p 欠失症候群	0	0	0	0	0	0
200	第 14 番染色体父親性ダイソミー症候群	0	0	0	0	0	0
201	アンジェルマン症候群	0	0	0	0	0	0
202	スミス・マギニス症候群	0	0	0	0	0	0
203	22q11.2 欠失症候群	1	0	0	0	0	1
204	エマヌエル症候群	0	0	0	0	0	0
205	脆弱X症候群関連疾患	0	0	0	0	0	0
206	脆弱X 症候群	0	0	0	0	0	0

No.	疾患名	管内計	所沢市	飯能市	狭山市	入間市	日高市
207	総動脈幹遺残症	0	0	0	0	0	0
208	修正大血管転位症	1	1	0	0	0	0
209	完全大血管転位症	1	1	0	0	0	0
210	単心室症	3	1	0	0	1	1
211	左心低形成症候群	0	0	0	0	0	0
212	三尖弁閉鎖症	0	0	0	0	0	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	0	0	0	0	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	0	0	0	0	0
215	ファロー四徴症	3	0	1	0	1	1
216	両大血管右室起始症	0	0	0	0	0	0
217	エプスタイン病	0	0	0	0	0	0
218	アルポート症候群	0	0	0	0	0	0
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	0	0	0	0	0
220	急速進行性糸球体腎炎	3	2	0	0	1	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	1	0	0	1	0	0
222	一次性ネフローゼ症候群	33	16	2	4	8	3
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	0	0	1	0	0
224	紫斑病性腎炎	3	2	0	0	1	0
225	先天性腎性尿崩症	0	0	0	0	0	0
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	0	0	0	0	0	0
227	オスラー病	6	2	0	4	0	0
228	閉塞性細気管支炎	0	0	0	0	0	0
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	1	0	0	0	1	0
230	肺胞低換気症候群	1	0	0	1	0	0
231	α ₁ -アンチトリプシン欠乏症	0	0	0	0	0	0
232	カーニー複合	0	0	0	0	0	0
233	ウォルフラム症候群	1	0	1	0	0	0
234	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）	0	0	0	0	0	0
235	副甲状腺機能低下症	0	0	0	0	0	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	0	0	0	0	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	0	0	0	0	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	2	0	1	0	1	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	0	0	0	0	0
240	フェニルケトン尿症	1	0	0	1	0	0
241	高チロシン血症1型	0	0	0	0	0	0
242	高チロシン血症2型	0	0	0	0	0	0
243	高チロシン血症3型	0	0	0	0	0	0
244	メープルシロップ尿症	1	0	0	0	1	0
245	プロピオン酸血症	0	0	0	0	0	0
246	メチルマロン酸血症	0	0	0	0	0	0

No.	疾患名	管内計	所沢市	飯能市	狭山市	入間市	日高市
247	イソ吉草酸血症	0	0	0	0	0	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	0	0	0	0	0
249	グルタル酸血症1型	0	0	0	0	0	0
250	グルタル酸血症2型	0	0	0	0	0	0
251	尿素サイクル異常症	0	0	0	0	0	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	0	0	0	0	0
253	先天性葉酸吸収不全	0	0	0	0	0	0
254	ポルフィリン症	0	0	0	0	0	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	0	0	0	0	0
256	筋型糖原病	0	0	0	0	0	0
257	肝型糖原病	0	0	0	0	0	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジル トランスフェラーゼ欠損症	0	0	0	0	0	0
259	レシチンコレステロールアシルトラ ンスフェラーゼ欠損症	0	0	0	0	0	0
260	シトステロール血症	0	0	0	0	0	0
261	タンジール病	0	0	0	0	0	0
262	原発性高カイロミクロン血症	0	0	0	0	0	0
263	脳髄黄色腫症	0	0	0	0	0	0
264	無βリポタンパク血症	0	0	0	0	0	0
265	脂肪萎縮症	0	0	0	0	0	0
266	家族性地中海熱	1	1	0	0	0	0
267	高IgD症候群	0	0	0	0	0	0
268	中條・西村症候群	0	0	0	0	0	0
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症 ・アクネ症候群	0	0	0	0	0	0
270	慢性再発性多発性骨髄炎	1	1	0	0	0	0
271	強直性脊椎炎	12	2	3	3	4	0
272	進行性骨化性線維異形成症	0	0	0	0	0	0
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0	0	0	0	0	0
274	骨形成不全症	1	0	0	0	1	0
275	タナトフォリック骨異形成症	0	0	0	0	0	0
276	軟骨無形成症	0	0	0	0	0	0
277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0	0	0	0	0	0
278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0	0	0	0	0	0
279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん 性病変)	1	0	1	0	0	0
280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病 変)	0	0	0	0	0	0
281	クリッペル・トレノネー・ウェーバ ー症候群	0	0	0	0	0	0
282	先天性赤血球形成異常性貧血	0	0	0	0	0	0

No	疾患名	管内計	所沢市	飯能市	狭山市	入間市	日高市
283	後天性赤芽球癆	5	1	1	3	0	0
284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0	0	0	0	0	0
285	ファンコニ貧血	0	0	0	0	0	0
286	遺伝性鉄芽球性貧血	0	0	0	0	0	0
287	エプスタイン症候群	0	0	0	0	0	0
288	自己免疫性出血病 XIII	0	0	0	0	0	0
289	クローンカイト・カナダ症候群	2	2	0	0	0	0
290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0	0	0	0	0	0
291	ヒルシュスプルング病（全結腸型又は小腸型）	0	0	0	0	0	0
292	総排泄腔外反症	0	0	0	0	0	0
293	総排泄腔遺残	0	0	0	0	0	0
294	先天性横隔膜ヘルニア	0	0	0	0	0	0
295	乳幼児肝巨大血管腫	0	0	0	0	0	0
296	胆道閉鎖症	4	2	0	1	1	0
297	アラジール症候群	1	0	0	1	0	0
298	遺伝性瘻炎	0	0	0	0	0	0
299	嚢胞性線維症	0	0	0	0	0	0
300	I g G 4 関連疾患	12	7	2	3	0	0
301	黄斑ジストロフィー	4	2	0	2	0	0
302	レーベル遺伝性視神経症	0	0	0	0	0	0
303	アッシャー症候群	0	0	0	0	0	0
304	若年発症型両側性感音難聴	0	0	0	0	0	0
305	遅発性内リンパ水腫	0	0	0	0	0	0
306	好酸球性副鼻腔炎	41	23	3	6	9	0
307	カナバン病	0	0	0	0	0	0
308	進行性白質脳症	0	0	0	0	0	0
309	進行性ミオクローヌスてんかん	0	0	0	0	0	0
310	先天異常症候群	0	0	0	0	0	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	0	0	0	0	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	0	0	0	0	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	0	0	0	0	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	0	0	0	0	0
315	ネイルパテラ症候群（爪膝蓋骨症候群）／LMX1B 関連腎症	0	0	0	0	0	0
316	カルニチン回路異常症	0	0	0	0	0	0
317	三頭酵素欠損症	0	0	0	0	0	0
318	シトリン欠損症	0	0	0	0	0	0
319	セピアプテリン還元酵素（SR）欠損症	0	0	0	0	0	0
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール（GPI）欠損症	0	0	0	0	0	0
321	非ケトーシス型高グリシン血症	0	0	0	0	0	0

No.	疾患名	管内計	所沢市	飯能市	狭山市	入間市	日高市
322	β-ケトチオラーゼ欠損症	0	0	0	0	0	0
323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0	0	0	0	0	0
324	メチルグルタコン酸尿症	0	0	0	0	0	0
325	遺伝性自己炎症疾患	0	0	0	0	0	0
326	大理石骨病	0	0	0	0	0	0
327	特発性血栓症（遺伝性血栓性素因によるものに限る。）	2	2	0	0	0	0
328	前眼部形成異常	0	0	0	0	0	0
329	無虹彩症	0	0	0	0	0	0
330	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症	0	0	0	0	0	0
331	特発性多中心性キャスルマン病	3	1	0	1	1	0
	合計	5,676	2,487	593	1,146	1,063	387

b 埼玉県特定疾患等医療給付事業 認定件数 (平成31年3月31日現在)

	疾患名	管内計	所沢市	飯能市	狭山市	入間市	日高市
1 県単独 指定難病	溶血性貧血（県指定）*1	1	0	0	1	0	0
	橋本病	3	2	1	0	0	0
	特発性好酸球增多症候群 （県指定）*2	8	3	0	2	3	0
	原発性慢性骨髄線維症	4	2	0	0	1	1
2 特定疾患	スモン	3	3	0	0	0	0
	難治性肝炎のうち劇症肝炎	2	0	1	0	0	1
	重症急性膵炎	1	1	0	0	0	0
	プリオン病（ヒト由来乾燥膜移植 によるクロイツフェルト・ヤコブ病に限 る）	0	0	0	0	0	0
3	先天性血液凝固因子欠乏症等	31	7	9	2	8	5
	合計	53	18	11	5	12	7

*1 難病法に係る指定難病として国の指定を受けている「(061)自己免疫性溶血性貧血」、「(062)発作性夜間ヘモグロビン尿症」を除く。

*2 難病法に係る指定難病として国の指定を受けている「(045)好酸球性多発血管炎性肉芽腫症」、「(098)好酸球性消化管疾患」、「(306)好酸球性副鼻腔炎」を除く。

(イ) 難病相談事業 患者会支援

a ひまわりの会

平成19年4月から自主活動を開始したひまわりの会(神経難病患者・家族会)に対し、年11回、保健所を主な会場とした自主活動を支援した他、共催で講演会を開催した。

日 時	平成30年11月21日(水) 13:30~15:30
会 場	狭山保健所 大会議室
対 象	パーキンソン病患者・家族、ひまわりの会会員
参加人数	42人(内訳 患者25人、家族及び関係者17人)
内 容	講演会 「やってみよう!! おうちでできるリハビリテーション」 講師 合同会社Smile Space 共同代表 理学療法士 小川順也氏

b かたくりの会

平成23年4月から活動を開始したかたくりの会(ALS患者・家族の会)に対し、年11回、保健所での活動を支援した。

(ウ) 難病訪問相談・指導

保健師が主に神経難病患者の家庭訪問を行った。
管理栄養士の同行訪問にて栄養指導も実施した。

訪問	実	延
件数	19	45

(エ) 在宅療養支援計画策定・評価(個別ケース検討等)

埼玉県における難病患者等支援に関する手引(平成28年7月版)をもとに、所内でケース支援判定会議を月1回(7・8月除く)、計10回実施した。

参加者は副所長(保健師)、担当部長(管理栄養士、保健師)、管理栄養士、難病担当保健師(2名)

疾患	支援計画策定数	支援計画評価件数
神経系 (ALS)	19	75

(オ) 難病患者支援者研修会

難病患者の地域支援体制を整備・強化することを目的として実施した。

日 時	平成30年12月6日(木) 14:00~15:45
会 場	入間市健康福祉センター 301・302会議室
対 象	入間市内介護支援専門員等、入間市職員
参加人数	100人
内 容	テーマ：難病法と障害者福祉サービスについて ～支援者が知っておきたいポイント～

	(1) 講義：「難病法の概要～医療費助成制度を中心に～」 講師 狭山保健所 保健予防推進担当主事 高橋 沙代
	(2) 講義：「障害者総合支援法における難病患者への障害福祉サービス」 講師 入間市役所 障害者支援課 障害援護担当副主幹 石田 弘美氏 障害者支援課 障害福祉担当副主幹 平岡 義和氏

(カ) 難病対策地域協議会

関係機関等が相互の連絡を図ることにより、地域における難病の患者への支援体制に関する課題について情報を共有し、関係機関等の連携の緊密化を図るとともに、地域の実情に応じた体制の整備について協議を行うことを目的に、平成29年度から難病対策地域協議会を設置した。

日 時	平成31年2月19日(火) 19:00～21:00
会 場	狭山保健所 大会議室
委員人数	14人
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・狭山保健所における難病対策について ①狭山保健所における難病患者の状況について ②平成30年度療養生活のおたずね回答状況 ③管内市における避難行動要支援者の災害時支援の取組みについて ・意見交換 ・その他

ウ 原子爆弾被爆者援護に関する事務

広島市、長崎市への原子爆弾投下による被爆者手帳所持者に対し、医療費支給及び手当受給に関する各種申請の受理を行った。

(ア) 被爆者健康手帳所持者数 (平成31年3月31日現在)

狭山保健所管内	295
---------	-----

(イ) 原子爆弾被爆者援護に関する各種申請件数 (件)

手帳交付関係※ (新規・再交付・記載事項変更)	手 当 関 係 (新規・継続・変更)	医療費支給関係	介護保険助成関係 (支給申請・認定申請)	そ の 他 (医療機関指定申請)	合 計
32	39	54	66	9	200

※二世手帳含む

エ 石綿健康被害救済給付申請

石綿健康被害救済法が平成18年3月27日から施行され、埼玉県各保健所で申請業務受付が開始された。

各種件数 (件)

各 種 給 付 申 請	制度等に関する相談	合 計
3	13	16

オ 栄養活動業務

(ア) 健康増進（栄養・運動等）指導

集団指導延人員			
栄養	運動	休養	禁煙
664	0	0	66

(イ) 給食施設指導

健康増進法に基づく給食施設の指導を行った。

個別指導	延べ 318件
集団指導	延べ 326件

(ウ) 埼玉県・健康づくり協力店の指定

飲食店における栄養成分表示を普及した。

(平成31年3月31日現在)

健康づくり協力店舗数	128施設
------------	-------

(エ) 食育事業

埼玉県食育推進計画を推進するために必要な取組を実施した。

a 健康づくり協力店の普及啓発

健康づくり協力店新規認証の推進	
実施時期	平成31年1月下旬～2月上旬
参加者	管内健康づくり協力店新規申請 9店舗
内 容	「野菜たっぷりメニュー」等の現地確認、提供依頼と食育や健康づくりに関する情報等の提供を依頼した。 地域活動栄養士会狭山支部の栄養士及び保健所栄養士による訪問指導

b 管内関係団体等を対象に研修会を実施した。

○対象団体 管内給食施設の従事者

日 時	平成30年6月15日（金）14時～16時10分
会 場	狭山保健所
対 象 者	管内給食施設の従事者（管内給食研究会会員施設の従事者）
参加人数	58 人
内 容	講義 「集団給食施設における衛生管理」 講師 狭山保健所 食品監視担当 担当課長 清水悦子

○対象団体 管内給食施設の従事者

日 時	平成30年8月9日(木) 14時～16時30分
会 場	入間市産業文化センター
対 象 者	管内給食施設の従事者
参加人数	341人
内 容	①講義 「給食施設における衛生管理」 講師 狭山保健所 食品監視担当 主任 竹内由香子 ②塩分測定結果報告 狭山保健所 管理栄養士

○対象団体 管内給食施設の従事者

日 時	平成31年2月20日(水) 14時00分～16時30分
会 場	狭山保健所
対 象 者	管内給食施設の従事者、地域活動栄養士
参加人数	66人
内 容	講義 「食物アレルギーをもつ子どもの対応」 講師 国立病院機構相模原病院臨床研究センター客員研究員 管理栄養士 林 典子氏

○対象団体 管内市栄養業務担当者、管内食生活改善推進員等

日 時	平成30年10月29日(月) 10時～12時
会 場	入間市健康福祉センター 301会議室
対 象 者	管市栄養業務担当者、管内市食生活改善推進員等
参加人数	68人
内 容	講義 「減塩のすすめ」 講師 社会医療法人財団 石心会法人事務局 食のサービス部 部長 管理栄養士 大川清氏

c 管内関係団体の活動を支援した。

○対象団体 地域活動栄養士会(在宅栄養士)

支援内容 月1回の研修会実施への支援

狭山保健所及び所沢市保健センターを会場に、定例会を実施している。
情報提供や助言を行った。 12回 延べ 152人

○対象団体 給食研究会

支援内容 会主催の役員会・研修会等に出席し、情報提供や助言を行った。
8回 延べ 228人

(オ) 国民健康・栄養調査 (根拠法令 健康増進法第 10 条)

調査内容	実施日	協力世帯 (世帯員数)
栄養摂取状況調査 生活習慣状況調査	平成30年11月7日	9世帯 (17人)
身体状況調査	平成30年11月8日	(17人)

※同時に「県民の健康に関するアンケート調査」を実施し17人の協力を得た。

カ 歯科保健対策事業

(ア) 歯科口腔保健連携会議の開催

管内の歯と口の健康づくりの推進を図ることを目的とし、保健所、管内市（保健センター、教育委員会）、地域の歯科医師、歯科衛生士等との連携強化を進めるため、講演、グループディスカッションを開催し高齢者の歯科保健や地域との連携、地域課題について検討した。

1 回 目	日 時 実施場所 出席者数 内 容	平成30年5月31日(木) 13:30～ 狭山保健所 小会議室 13人 歯科保健連携会議打ち合わせ
2 回 目	日 時 実施場所 出席者数 内 容	平成31年1月24日(木) 13:30～ 狭山保健所 大会議室 31人 歯科口腔保健連携会議 1 埼玉県歯科医師会事業概要 説明 所沢市歯科医師会 小沢正道氏 2 講演会「オーラルフレイル ー健康長寿社会の実現に向けた、歯科からのアプローチ」 講師 埼玉県健康長寿課 主査(歯科医師) 小泉伸秀氏 3 事例発表 『歯科保健 地域との連携』 「公益社団法人埼玉県歯科衛生士会啓発講演会における県民フォーラムの報告」 講師 埼玉県歯科衛生士会 狭山支部 大海真貴子支部長 4 グループディスカッション 『歯科保健 地域との連携』 コーディネーター 入間郡市歯科医師会 大野 康氏

キ 健康づくり

(ア) 受動喫煙防止対策事業

- a 受動喫煙による健康への悪影響を防止するため、埼玉県全面禁煙・空間分煙実施施設認証制度に申込みのあった施設に認証書やステッカーの交付をした。

認証延交付件数 650施設

(平成31年3月31日現在)

総認証数			市町村別					
			所沢市	飯能市	狭山市	入間市	日高市	
			268	99	83	131	69	
施設種別	保健・医療・福祉施設	保健センター・保健所	6	1	2	2	1	0
		病院	27	11	3	6	4	3
		診療所	25	13	7	2	1	2
		歯科診療所	152	65	21	23	31	12
		薬局	12	5	1	2	3	1
		保育所・保育園	84	42	11	12	15	4
		福祉施設	44	5	6	12	5	16
	教育関係機関	幼稚園	27	15	2	6	3	1
		小学校	77	32	14	9	16	6
		中学校	45	15	9	4	11	6
		高等学校	2	0	1	0	1	0
		専門学校・大学校	5	1	2	0	1	1
		公民館・自治会館	47	12	15	0	14	6
	文化・運動施設	文化施設	10	4	0	0	5	1
		運動施設	15	7	0	0	7	1
	民間施設	飲食店	26	12	3	5	1	5
		事業所	1	0	0	0	1	0
		その他	5	3	0	0	2	0
	その他公共施設	市・県庁舎	4	1	1	0	1	1
		その他公共施設	36	24	1	0	8	3

b 受動喫煙防止に関する普及啓発

①日時：平成30年5月29日(火) 9:20~9:50

場所：明治安田生命保険相互会社所沢支社

対象者：明治安田生命保険相互会社所沢支社職員 人数：258人

内容：「健康長寿サポーター養成講習会」

②日時：平成30年10月18日(木) 9:30~10:00

場所：日本ハイウェイ・サービス株式会社・狭山料金所

対象者：日本ハイウェイ・サービス株式会社・狭山料金所職員 人数：18人

内容：「健康長寿サポーター養成講習会」

- ③日時:平成30年12月18日(火) 14:00~16:45 場所:ウエスタ川越
対象者:事業所等の総務・福利厚生担当及び健康管理担当、給食業務従事者、給食施設で栄養管理・健康増進に携わっている者、地域で健康増進に携わっている者(地域活動栄養士)、市町村国保等の特定健診・特定保健指導担当者、市町村保健センター職員、全国健康保険協会埼玉支部関係者 人数:47人

内容:

事例報告「会社・健保・食堂が協働で取り組むコラボヘルス～食生活向上プロジェクト」
発表者 ボッシュ健康保険組合 管理栄養士 池田 香織 氏
講演 「食を活かした『健康経営』～少ない労力、楽しい企画・工夫で実現しよう～」
講師 栄養サポートネットワーク合同会社 代表 安達美佐 氏
情報提供 「健康増進法の改定について」
報告者 健康長寿課職員

- ④日時:平成31年3月10日(日)
場所:入間市健康福祉センター
対象者:入間市健康まつり来場者 人数:100人程度
内容:受動喫煙防止に係るパンフレット及び普及啓発物の配布

- ⑤日時:平成31年1月~3月
場所:健康づくり協力店新規申請店
対象者:健康づくり協力店新規申請店店主 10店舗
内容:健康づくり協力店への受動喫煙防止の普及・啓発

(イ) 地域・職域連携推進事業

- a 働く世代の健康づくり支援等健康対策等健康課題対策支援事業
働く世代等の健康課題を確認し、各市で実施する特定健診・特定保健指導事業が円滑、かつ効果的に実施できるよう支援を行った。

(a) 管内市のヒヤリングの実施

対象者:各市健康増進及び国民健康保険の担当課職員

- ①平成30年4月27日(金) 9:30~ 場所:飯能市保健センター 人数:6人
②平成30年4月27日(金) 11:00~ 場所:日高市立保健相談センター
人数:4人
③平成30年5月2日(水) 10:00~ 場所:入間市健康福祉センター
人数:6人
④平成30年5月7日(月) 14:00~ 場所:所沢市役所 人数:3人
⑤平成30年5月8日(火) 13:30~ 場所:狭山市保健センター 人数:5人

(b) 働き盛り世代の健康管理研修会(西部地区保健所合同研修会)の開催

日時:平成30年12月18日(火) 14:00~16:45

場所:川越地方庁舎4階大会議室

参加者:事業所等の総務・福利厚生担当及び健康管理担当、給食業務従事者、給食施設で栄養管理・健康増進に携わっている者(地域活動栄養士)、市町村国保等の特定健診・特定保健指導担当者、市町村保健センター職員、全国健康保険協会埼玉支部関係者等

人数：53人

内容：事例報告「会社・健保・食堂が協働で取り組むコラボヘルス
～食生活向上プロジェクト～」

講師 ボッシュ健康保険組合 池田香織氏

講演「食を活かした『健康経営』

～少ない労力、楽しい企画、工夫で実現しよう～

講師 栄養サポートネットワーク合同会社

代表 管理栄養士 安達美佐氏

(c) 健康課題対策会議

日時：平成30年10月29日(月) 13:00～15:00

場所：入間市健康福祉センター

参加者：管内市栄養・健康づくり担当者 20人

内容：特定健診保健指導・健康教室の進め方について 他

b 特定健診受診率向上事業

(a) 管内食品衛生実務者講習会でのリーフレットの配布

平成30年10月11日 所沢市 200人

平成30年11月14日 飯能市、日高市 250人

平成30年11月27日 狭山市、入間市 240人

(b) 入間市健康まつり リーフレット及び啓発物の配布

平成31年3月10日 100人

c 効果的な保健指導実施支援事業

(a) データ活用研修会

①日時：平成30年10月3日(水) 13:30～16:45

場所：坂戸保健所 多目的ホール

参加者：市国保主管課・保健衛生主管課職員 保健所職員 44人

内容：①グループワーク「特定保健指導実施率向上対策の阻害要因の整理・
対策の検討方法 ～実践編～」

講師 狭山保健所副所長 谷戸典子

②講演「特定保健指導実施率向上対策の阻害要因の整理・対策の検討方法」

講師 国立保健医療科学院生涯健康研究部長 横山徹爾氏

②日時：平成30年11月30日(金) 13:15～16:15

場所：坂戸保健所 多目的ホール

参加者：市国保主管課・保健衛生主管課職員 保健所職員 32人

内容：①グループワーク「特定保健指導実施率向上対策の見直しの視点について」

講師 狭山保健所副所長 谷戸典子

②講演「特定保健指導実施率向上対策の見直しの視点について ～実践編～」

講師 国立保健医療科学院生涯健康研究部長 横山徹爾氏

d 地域健康長寿情報のPR

- (a) 「埼玉県健康づくり協力店」を活用した情報提供 通年
対象店舗数：既存店 119店 新規指定店 10店 合計129店
内容：健康づくり協力店による情報提供
- (b) 給食施設研修会
日時：平成30年8月9日（木）14:00～16:30
場所：入間市産業文化センター
参加者：給食施設 126施設
内容：施設で提供した汁物の塩分測定
- (c) 給食施設研修会
日時：平成31年2月20日（水）14:00～16:30
場所：狭山保健所 大会議室
参加者：給食施設 42施設
内容：施設で提供した汁物の塩分測定

e 市町村健康長寿のための情報担当者会議

- (a) 管内栄養業務担当者会議の開催
日時：平成31年5月14日（月）13:30～16:00
場所：狭山保健所 大会議室
対象：管内市栄養・健康づくり担当者
内容：特定保健指導、食生活改善推進員養成講座、食育活動他

f 健康長寿サポーター養成に関する支援

- (a) 健康長寿サポーター養成講習会の開催
- ①日時：平成30年5月29日（火）9:20～9:50
場所：明治安田生命保険相互会社所沢支社
対象者：明治安田生命保険相互会社所沢支社職員 258人
内容：健康長寿サポーター養成講習会 講師 狭山保健所職員
- ②日時：平成30年10月18日（木）9:30～10:00
場所：日本ハイウェイ・サービス株式会社 狭山料金所
対象者：日本ハイウェイ・サービス株式会社 狭山料金所職員 18人
内容：健康長寿サポーター養成講習会 講師 狭山保健所職員

(2) 精神保健福祉対策

ア 管内の精神保健福祉に関する状況

(根拠法令：精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第22条～26条)

一般人・警察官・検察官・保護観察所の長・矯正施設の長等の申請通報による精神保健診察件数

区分	申請 通報 届出 件数	診察 不要	精神保健診察を受けた者 (緊急措置入院を除く)				緊急措置入院の状況			措置入院 計
			精神障害者			計	診察 した 患者数	緊急措置 入院者数	その後の診察 の結果 措置入院とな った者	
			法第29条該当症状の者		法第29条当 症状ではな かった者					
			措置入院者	措置入院としな かった者						
一般人(法第22条)	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1
警察官(法第23条) (再掲載緊急情報センター対応)	159 (41)	10 (3)	80 (20)	0 (0)	62 (14)	142 (34)	7 (4)	5 (4)	3 (3)	83 (23)
検察官(法第24条)	20	6	6	0	8	14	0	0	0	6
保護観察所の長(法第25条)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矯正施設の長(法第26条)	21	20	0	0	1	1	0	0	0	0
計	201	36	87	0	71	158	7	5	3	90

イ 精神保健福祉相談(事業開始S40～・根拠法令：精神保健福祉法第47条)

(ア) 受診援助

相談 経路	警察	本人・家族	市	病院	その他	合計
	22 (84.6%)	2 (7.7%)	1 (3.8%)	0 (0%)	1 (3.8%)	26
帰結	医療保護入院 (応急入院含む)		任意入院	外来	その他 ※	合計
	18 (69.2%)		2 (7.7%)	5 (19.2%)	1 (3.8%)	26

※家族引き取り等

(イ) 面接相談

実人員	延 人 員												
	老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	思春期	心の健康づくり	摂食障害	その他	計	その他の再掲		
											ひきこもり	自殺関連	犯罪被害
454	7	204	29	8	4	4	5	4	753	1,018	38	3	0

(ウ) 訪問指導

実人員	延 人 員											
	老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	思春期	心の健康づくり	その他	計	その他の再掲		
										ひきこもり	自殺関連	犯罪被害
374	6	224	13	2	0	2	2	667	916	3	2	0

(エ) 電話相談

電話相談等延人員内訳													
延人員	老人精神保健	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	思春期	心の健康づくり	摂食障害	その他	計	その他の再掲		
											ひきこもり	自殺関連	犯罪被害
4,826	25	888	99	16	4	52	68	9	3,665	100	35	1	

ウ 専門相談

	職 種	実施回数	相談延人数
精神保健相談	精神科医師	2	4
ひきこもり相談	臨床心理士	3	4

エ 法定提出書類受理・進達事務件数

医療保護入院					措置入院
第1項入院届	第2項入院届	退院届	定期病状報告書	保護者変更届	定期病状報告書
1,135	—	1,223	1,080	—	6

オ 管内市精神保健福祉関係者研修（根拠法令：精神保健福祉法第46条）

管内の精神保健福祉関係職員を対象に、相談技術の向上と連携強化のため研修会を実施した。

実施日・会場	内容・講師	参加者
平成30年10月29日(月) 狭山保健所	講義「地域支援者のための “こころの相談”パワーアップ講座」 講師：特定非営利活動法人 メンタルケア協議会 西村 由紀氏	73人
平成31年2月26日(火) 狭山保健所	講義「ギャンブル等の依存関連問題のとらえ方と 支援について考える」 講師：浦和まはろ相談室 室長 高澤 和彦 氏	52人

カ ひきこもり対策事業（事業開始H10年度～・根拠法令：精神保健福祉法第46条）

(ア) ひきこもり公開講座

ひきこもり状態にある当事者及び家族が、ひきこもりについての知識や対応を知るとともに、住民や支援者にひきこもり問題に関する予防及び早期対応についての普及啓発を目的に公開講座を実施した。

実施日・会場	内容・講師	参加者
平成30年11月9日(金) 狭山保健所 大会議室	講義：「ひきこもりの理解を深めるために～関わりのポイント～」 講師：埼玉県立大学教授 東宏行氏 当事者による経験談発表	49人

(イ) ひきこもり家族のつどい

家族同士の交流を通して家族の負担を軽減することを目的につどいを実施した。

	ひだまりの会
実施日	第3木曜日(午前)
会場	狭山保健所
内容	話し合い・情報交換・学習会等
参加人数	実人数13人(延べ99人)

キ 管内精神保健福祉担当者会議

管内市及び保健所の精神保健福祉担当者間で地域保健福祉行政の向上を目的に情報・意見交換を実施した。

実施日・会場	内容・講師	参加者
平成30年6月8日(火) 狭山保健所	① 昨年度の管内市及び当所における事業 ② 今年度の管内市及び当所における事業計画 (自殺対策、地域移行事業他) ③ 埼玉県措置入院者退院後支援事業について ④ 報告：埼玉県高次脳機能障害者支援センター 助言者：精神保健福祉センター地域支援担当 主任 山内 千恵美 氏	21人

ク 措置入院者退院後支援事業（事業開始 H30 年度～）

地域における措置入院の運用、措置入院者の退院後の支援体制、医療機関及び関係機関の役割分担並びに地域における課題等について検討することなどを目的として、措置入院者退院後支援事業を実施した。

(ア) 精神障害者支援地域協議会（代表者会議）

実施日・会場	内容・講師	参加者
平成30年12月25日(火) 狭山保健所 大会議室	(1) 精神障害者の退院後支援について(国・県の動向等) (2) 管内の精神保健福祉法に基づく通報および措置入院状況について (3) 当所における措置入院者の退院後支援体制について (4) 意見交換	39人 市職員、訪問看護事業所、精神科医療機関、相談支援事業所、警察署等

(イ) 措置入院者解除支援検討会議

措置入院者について、措置解除後の適切な精神科医療の提供や関係機関との連携確保等の支援方針を検討し、継続的な支援体制の整備を図ることを目的に、月2回実施している。

ケ 精神障害者を地域で支えるシステム構築事業（事業開始 H30 年度～）

精神障害者が住み慣れた地域で安心して充実した生活を送ることができ、併せて精神障害者の地域移行の推進を図ることを目的に、会議や研修会を実施した。関係機関職員のスキルアップや連携強化を図った。

(ア) 精神障害者地域支援体制構築会議

実施日・会場	内容・講師	参加者
平成30年12月25日(火) 狭山保健所 大会議室	(1) 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」について (2) 狭山保健所における平成29年度地域移行支援事業の実績について (3) 管内市、地域相談支援機関、ピアスタッフの実績について (4) 意見交換	45人 市職員、訪問看護事業所、精神科医療機関、相談支援事業所、地域包括支援センター職員等

(イ) 埼玉県障害者相談支援従事者専門研修（地域移行支援）

※共催：NPO法人埼玉県相談支援専門員協会

実施日・会場	内容・講師	参加者
平成31年1月25日(金) 狭山保健所 大会議室	『医療と保健・福祉の連携研修』～精神障害にも対応した地域包括ケアシステムを考える～ (1) 「精神障害者の地域移行をめぐる動向」 (2) 「体験談から地域生活について考える」 (3) 「地域移行推進における関係機関・関係者の役割」 (4) 「退院意欲を取り戻すための支援」 (5) 「地域移行の進め方と市町村（圏域）における連携体制の構築」 (6) 演習「病院と指定一般相談支援事業所が連携した地域移行の進め方」	66人 市職員、精神科医療機関、相談支援事業所職員等

(ウ) 精神障害者地域移行支援事業連絡会

実施日・会場	内容・講師	参加者
第1回 連絡会 平成30年6月8日(火) 狭山保健所 小会議室	(1) 平成29年度自殺対策および地域移行事業等の実績 (2) 平成30年度自殺対策および地域移行事業等の計画 (3) 措置入院者退院後支援事業について (4) 意見交換	21人 管内市精神保健福祉担当者

第2回 連絡会 平成31年2月27日(水) 狭山保健所 大会議室	事例検討およびグループワーク	23人 市職員、精神科医療機関、相談支援事業所職員等
--	----------------	-------------------------------

(エ) ピアサポーターの活動支援

地域移行ピアサポート委託事業所との打ち合わせ等を2回行い、精神障害者地域支援体制構築会議にて、実績報告を行った。また、管内ピアスタッフグループとの交流の場を提供した。

コ 自殺対策事業（事業開始H21年度～）

平成18年10月に『自殺対策基本法』が施行され、平成19年6月には『自殺総合対策大綱』が閣議決定され、自治体での自殺対策の推進が求められている。

管内市精神保健福祉担当者を対象とした自殺対策ネットワーク会議を開催し、情報及び意見交換を行うことにより自殺対策の拡充を図った。

(ア) 自殺対策ネットワーク会議

実施日・会場	内容・講師	参加者
平成30年6月8日(金) 狭山保健所	①管内の今年度自殺対策事業について ②国や県の自殺対策の動向について	21人

サ アルコール依存症本人・家族の集い

アルコール依存症からの回復を目指すご本人とその家族を対象とする集いの開催を、NPO埼玉西部断酒会ヒューマニティ・グループに協力して実施している。

	アルコール依存症本人・家族のつどい
実施日	第2火曜日(午前)
会場	狭山保健所
内容	話し合い・情報交換等
参加人数	延べ109人

(3) 感染症対策

ア 届出数

一類、二類感染症（結核を除く）の届出はなかった。三類感染症は、腸管出血性大腸菌感染症が42件、四類感染症20件、五類感染症（全数報告）は188件の届出があった。

特に梅毒の発生が25件で、20～30代の若い世代が過半数を占めている。

平成30年

類型	病名	件数	類型	病名	件数
一類	—		五類	アメーバー赤痢	6
二類	—（結核を除く）			急性脳炎	7
三類	腸管出血性大腸菌感染症	42		後天性免疫不全症候群	5
四類	E型肝炎	4		風しん	15
	A型肝炎	4		梅毒	25
	つつが虫病	1		百日咳	78
	レジオネラ症	10		水痘（入院例）	1
	マラリア	1		侵襲性肺炎球菌感染症	19
五類	急性弛緩性麻痺	1		カルバペネム耐性腸内細菌感染症	22
	薬剤耐性アシネトバクター	2		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4
	侵襲性インフルエンザ球菌感染症	3			

イ 新型インフルエンザ対策

発生動向調査等によりインフルエンザの発生状況を把握、防護服着脱訓練や搬送車訓練を実施し、感染症担当者会議等において新型インフルエンザ対策について周知を行った。

(ア) インフルエンザサーベイランス

五類感染症定点把握疾患として報告があったインフルエンザの定点あたり報告数の推移を埼玉県と比較、学校の学級閉鎖等の報告から管内の流行状況を観察した。

(イ) 入院サーベイランス実施状況

入院の報告は、平成23年9月から基幹定点の週報告に変わり、平成30年は39件の報告があった。

(ウ) 新型インフルエンザ等対策会議等の開催

新型インフルエンザ等対策について、管内の医療機関及び消防局、市関係職員等と新型インフルエンザの動向や発生時の対応等について情報共有を行った。

新型インフルエンザ対策研修会	<p>開催日：平成30年11月20日(火)</p> <p>会 場：狭山保健所大会議室</p> <p>出席者：管内関係医療機関、消防局、市の感染症担当者・教育委員会担当者 36人</p> <p>内 容：新型インフルエンザ対策研修会 講義「新型インフルエンザ発生に備えた対策」 ～インフルエンザ最近の知見から考える～ 講師 防衛医科大学校病院 副院長 感染症・呼吸器内科教授 川名明彦氏</p>
新型インフルエンザ対策会議	<p>平成30年11月20日(管内感染症関係機関担当者会議)及び平成31年3月14日(埼玉県西部地域保健医療協議会)において、新型インフルエンザ対策について報告等を行い、情報共有した。</p> <p>出席者：管内病院院内感染対策担当者 17人、埼玉県西部地域保健医療協議会委員22人</p>
防護服着脱及び搬送車訓練	<p>平成31年3月26日(火) 新型インフルエンザ等発生に備えて、防護服着脱及び搬送車の訓練を実施した。</p>

ウ 院内感染対策(薬剤耐性菌対策)

管内の薬剤耐性菌対策の強化を図ることを目的として、管内感染症中核医療機関と連携し、「感染防止対策連携会議」を開催し、薬剤耐性菌発生の現状や課題、管内の感染症対策について情報共有及び検討を行った。

日 時	<p>第1回 平成30年6月8日(金) 9時30分～11時30分</p> <p>第2回 平成30年8月2日(木) 9時30分～11時30分</p> <p>第3回 平成30年10月31日(水) 9時30分～11時45分</p> <p>第4回 平成30年12月14日(金) 14時30分～16時30分</p> <p>第5回 平成31年2月28日(木) 14時～16時</p>
会 場	<p>狭山保健所 大会議室</p>
参 加 機 関	<p>管内感染症中核医療機関 感染管理担当者(医師、看護師)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独立行政法人国立病院機構西埼玉中央病院 ・防衛医科大学校病院 ・埼玉石心会病院 ・埼玉医科大学国際医療センター <p>狭山保健所職員</p>

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・管内の薬剤耐性菌等発生動向及び院内感染対策 ・MDRA、MDRP等院内感染対策 ・院内感染対策研修会参加機関アンケート結果報告 ・管内医療・施設における感染症対策の地域連携 ・感染防止対策加算1-1、1-2連携 ・アウトブレイク時の対応、対策 ・MERS等発生時の対応 ・介護施設向け薬剤耐性菌対策研修会（講義、意見交換）
-----	---

エ 麻しん対策

麻しんに関する特定感染症予防指針が策定され、平成20年1月1日から適用されたことに伴い、管内の麻しん患者発生予防及び予防接種対策を推進するため、「狭山保健所管内麻しん対策会議」を実施してきた。

平成25年度からは、麻しんに限らず感染症対策全般についての情報交換や共有を図り、管内における感染症対策の強化を図ることを目的に、「狭山保健所管内感染症関係機関担当者会議」を開催している。

日 時	平成30年11月20日（火）13時15分～16時15分
会 場	狭山保健所 小会議室及び大会議室
出席者	17人
参 加 機 関	管内市保健センター・教育委員会担当者、消防局職員 狭山保健所職員
内 容	<p>13時15分～14時15分</p> <p>(1) 感染症対策について</p> <p>ア 管内の感染症発生状況と対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管内の平成29年、30年の感染症発生状況 ・百日咳 ・腸管出血性大腸菌感染症 ・結核 <p>イ 麻しん・風しん対策</p> <p>ウ 感染症発生時の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結核 <p>(2) その他</p> <p>14時30分～16時15分</p> <p>新型インフルエンザ対策研修会 講義「新型インフルエンザ等対策研修会」 ～インフルエンザ最近の知見から考える～ 講師 防衛医科大学校病院 副院長 感染症・呼吸器内科教授 川名 明彦氏</p>

オ 性感染症予防の普及啓発事業（平成18年度から実施）

HIV感染者の約7割が20～30歳代の青年層であること、また、近年梅毒患者報告数の増加もみられることから、HIVを含めた性感染症に対する正しい知識を普及することは緊急の課題である。

地域の関係機関のネットワーク化を図り、青年層に対する性感染症に関する効果的な普及啓発を進め、性感染症に関して適切な行動を取れる状態を形成することを目的として事業を実施した。

日時	平成30年10月30日（火）14時～16時
会場	狭山保健所 大会議室
対象者	管内大学の健康管理室等の職員 管内市保健センター職員、小・中学校、高等学校養護教諭等 管内医療機関職員
参加者	25人
内容	講義 「性感染症の予防は『自分を、相手を大事にすること』」 ～いつかは自分の問題になることを伝えるには～ 講師 埼玉医科大学 社会医学講座助教 埼玉医科大学病院 産婦人科医師 高橋 幸子氏

カ HIV、肝炎等相談・検査

毎月第3月曜日午前にHIV、C型肝炎、B型肝炎、梅毒、クラミジアの検査、同日午後にHIV即日検査を実施した。検査の結果、クラミジア35件、HBV4件が陽性であった。

(ア) HIV等検査件数

(件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
第3月曜日	即日HIV抗体	6	3	2	3	10	8	7	14	9	8	12	14	96
第3月曜日	HIV抗体	8	18	11	15	18	11	16	20	18	13	8	12	168
	C型肝炎検査	10	22	18	19	19	15	18	18	19	14	10	13	195
	B型肝炎検査	10	22	18	19	19	16	18	18	19	13	10	15	197
	梅毒検査	9	17	12	17	20	14	17	20	19	13	9	13	180
	クラミジア検査	9	20	12	17	18	14	15	19	19	13	9	13	178

(イ) 相談件数

HIV等の相談件数は、延べ1,082件（電話722件、面接360件）であった。

キ 肝炎治療特別促進事業

B型及びC型肝炎ウイルスの除去を目的として行う、インターフェロン治療・インターフェロンフリー治療・核酸アナログ製剤治療で保険適応となるものについて医療費の助成を行っている。

医療受給者証交付数

(491件) は再治療)

種別	申請内容	所沢市	飯能市	狭山市	入間市	日高市	合計
インターフェロン治療	新規	0	0	0	0	0	0
	延長	0	0	0	0	0	0
	2回目申請	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0
インターフェロンフリー治療	新規	65 (1)	18 (2)	31 (2)	33 (2)	16	163 (7)
核酸アナログ製剤治療	新規	10	2	4	2 (1)	2 (2)	20 (3)
	更新	126	32	54	60	26	298
	計	136	34	58	62 (1)	28 (2)	318 (3)
合計		201 (1)	52 (2)	89 (2)	95 (3)	44 (2)	481 (10)

ク 感染症予防の保健指導

施設で、感染性胃腸炎、インフルエンザ等の集団発生の報告を受けたときは、保健指導を行い、必要に応じ、利用者、職員等を感染拡大のおそれが無くなるまで健康観察を実施。

また、平成29年度、30年度に福祉施設で腸管出血大腸菌感染症の集団感染が発生したため、施設の感染症拡大防止を目的として研修会を開催した。

(ア) 施設における感染症集団発生報告数

(件)

対象感染症 (疑い含む)	施設の種別	件数	患者数			入院 者数	重篤 者数	死亡 者数
			入所 者等	職員	計			
感染性胃腸炎	介護・老人福祉関係施設	5	94	18	112	1	0	0
	児童・婦人関係施設	5	131	32	163	0	0	0
	計	10	225	50	275	1	0	0
インフルエンザ	介護・老人福祉関係施設	16	256	90	346	10	0	0
	児童・婦人関係施設	38	1084	110	1194	0	0	0
	障害福祉関係施設	5	78	18	96	2	1	0
	計	59	1418	218	1636	12	1	0

(イ) 感染症予防研修会

日時	平成30年11月13日(火) 14時~16時30分
会場	狭山保健所 大会議室
参加者	管内障害・高齢者福祉施設職員、市主管課職員等 56人
内容	<p>講義及び実習</p> <p>(1) 講義 「障害・高齢者施設における感染症対策のポイント」</p> <p>(2) ビデオ 「下痢便のおむつ交換」</p> <p>(3) 実習 「嘔吐物の処理」</p> <p>講師：独立行政法人国立病院機構 西埼玉中央病院 感染症管理認定看護師・感染症看護専門看護師 坂木 晴世 氏</p>

(4) 結核対策

ア 定期健康診断実施状況

学校、市町村、事業所等で行った健康診断の実施結果は下表のとおりであった。

(人)

検査種別	実施者別				合計
	事業者	学校長	施設の長	市町村長	
X線撮影者数	12,692	6,259	1,779	27,095	47,825
喀痰検査者数	21	0	0	197	218
被発見者数	結核患者	0	0	0	0
	結核発病の虞あり	0	0	0	0

イ 結核管理検診、接触者健診実施状況

治療が終了し、経過観察期間にある結核患者の管理検診の受療確認及び勧奨、保健所での健診を実施した。

また、結核患者家族及び接触者に対し接触者健診を実施した結果、3人が結核で要治療となり、13人が潜在性結核感染症と診断され、治療となった。

なお、保健所で実施していた胸部エックス線検査は、平成30年4月から医療機関への委託となっている。

(人)

種別	健(検)診区分	受診者数 合計	ツベルク リン反応 検査	X線 検査	IGRA 検査	喀痰 検査	最終診断結果	
							要治療	(再) 診断陽性
管 理	保健所	0	/	0	/	0	0	/
	医療機関・事業団 (委託分)	24	/	24	0	0	0	0
	小 計	24	/	24	/	0	0	/
接 触 者	保健所	470	0	0	470	0	14	11
	医療機関・事業団 (委託分)	53	4	21	27	0	2	2
	小 計	523	4	21	497	0	16	13
合 計		959	4	21	497	12	16	15

ウ 新規登録患者数

(ア) 血液検査(IGRA検査)等により潜在性結核感染症患者の発見が増加している。

平成30年(人)

	活 動 性 結 核								潜在性 結核 感染症 (別掲)
	合計	肺 結 核 活 動 性						肺外結 核活動 性	
		小計	登録時喀痰塗抹陽性			登録時そ 他の結 核菌陽性	登録時 菌陰性 その他		
			計	初回 治療	再治療				
総 数	63	50	23	23	0	18	9	13	48
所沢市	40	31	11	11	0	12	8	9	16
飯能市	0	0	0	0	0	0	0	0	6
狭山市	7	6	4	4	0	1	1	1	12
入間市	13	10	8	8	0	2	0	3	9
日高市	3	3	0	0	0	3	0	0	5

(イ) 狭山保健所管内結核新規登録患者数の経年推移

(人)

市別 \ 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
所沢市	39	32	26	39	40
飯能市	10	14	9	9	0
狭山市	24	18	15	18	7
入間市	14	11	7	12	13
日高市	4	6	4	5	3
総 数	91	81	61	83	63
管内 (人口 10 万対 罹患率)	11.6	10.5	7.8	10.7	—
埼玉県	14.1	13.2	13.4	12.7	—
全 国	15.4	14.4	13.9	13.3	—

※平成30年は暫定数

エ 感染症診査協議会診査件数

感染症患者の本入院勧告、入院期間延長勧告及び法第 3 2 条の 2 の規定による結核の医療費の公費負担について診査をした。

(ア) 感染症診査協議会諮問件数

(件)

法別	保険別	被用者 保険		国民健康保険			後期 高齢 者	生活 保護 法	その他	合 計
		本 人	家 族	一 般	退職 本人	退職 家族				
37 条-2	申請受 理件数	60	21	37	0	0	71	5	0	194
	承認 件数	60	21	37	0	0	71	5	0	194
入院勧告 及び 入院期間 延長勧告	諮問 件数	20	5	8	0	0	50	9	0	92
	承認 件数	20	5	8	0	0	50	9	0	92

※ 入院勧告および入院期間延長勧告を承認された者については、申請により法第 3 7 条による公費負担承認通知書を発行した。

(イ) 結核医療費公費負担申請件数の経年推移

(件)

年度 法別	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
37条-2	198	195	178	220	194
37条	86	76	87	119	92
合計	284	271	265	339	286

オ 結核患者登録者数（治療状況、市別）

平成30年12月末日の登録患者は182人。治療状況の不明者はいなかった。

平成30年12月31日現在（人）

市	合計	活動性結核							観察中		別掲 潜在 性結 核感 染症 治療 中	別掲 潜在 性結 核感 染症 観察 中	
		小計	肺結核活動性						肺外 結核 活動 性	不 活 動 性 結 核			活 動 性 不 明
			計	登録時 喀痰塗抹陽性		登録時 他の 結核 菌陽性	登録時 菌陰性 その他						
				計	初回 治療			再 治療					
管内	182	48	36	17	17	0	8	11	12	86	38	31	46
所沢市	96	28	20	7	7	0	5	8	8	47	21	9	17
飯能市	14	0	0	0	0	0	0	0	0	10	4	4	3
狭山市	33	7	6	4	4	0	0	2	1	23	3	10	6
入間市	25	11	8	6	6	0	2	0	3	9	5	4	12
日高市	14	2	2	0	0	0	1	1	0	7	5	4	8

カ 結核相談

(ア) 保健指導

患者に対しては、受診の必要性・服薬の重要性等、接触者には、健診の勧奨・早期発見のための症状の説明等を行っている。

また、患者が発生した事業所・病院等に対し、健診の必要性及びその方法等について説明している。

(延件数)

電話	面接	訪問	文書
1,657	222	510	243

(イ) 結核患者服薬支援

結核患者の確実な治療完了を目指し、患者自身や患者を取り巻く環境等についてアセスメントを行い、服薬支援体制に関して所内DOTSカンファレンスを実施している。平成30年度は、18回開催した。

また、地域と専門医療機関との連携を図るため、コホート検討会へも出席している。

所内DOTSカンファレンス

支援 区分 対象者 の区分	総合判定						その他		合計	
	A		B		C		実 人数	延 人数	実 人数	延 人数
	実 人数	延 人数	実 人数	延 人数	実 人数	延 人数				
「新規喀痰塗 抹陽性」	6	6	4	4	13	14	0	0	23	24
「再発事例」	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
「LTBI」	0	0	2	2	31	31	0	0	33	33
その他	0	0	0	0	21	21	0	0	21	21
合 計	6	6	6	6	65	66	0	0	77	78

総合判定 A：毎日服薬支援

B：週単位の支援

C：月単位の支援

キ 結核についての普及啓発

実施日時等	内容及び参加者
平成30年7月12日(木) 14時～16時 入間市健康福祉センター 301・302号室	結核対策研修課～結核を知る～ 住みなれた地域で暮らす治療中の方の生活を支えるために 講師 狭山保健所 感染症担当保健師 参加者 入間市介護支援専門員協会会員・ヘルパー ・関係者他

(5) 人材育成

研修及び調整会議

住民の健康を守るための質の高いサービスの提供と保健施策を推進するため、保健師の能力向上を目指し現任教育の一環として、研修会及び調整会議を実施した。

①保健師連絡調整地域別会議

	第1回	第2回
日時	平成30年6月6日 13:30～16:00	平成31年3月7日 10:00～12:00
会場	狭山保健所大会議室	
内容	1 各市及び保健所の保健師配置状況と現認教育計画 2 今年度の階層別研修のすすめ方 3 グループワーク 災害発生時の保健活動 ～管理的立場にある保健師の役割～ オブザーバー 東京家政大学 健康科学部 看護学科 山口佳子氏 大野順子氏 植村直子氏	1 平成30年度人材育成階層別研修報告 2 各市及び保健所の現任教育の取り組み報告 3 報告 「西日本豪雨災害被災地支援報告」 報告者：狭山保健所 副所長 谷戸典子 4 グループワーク 災害発生時の保健活動 ～管理的立場にある保健師の役割～ オブザーバー 東京家政大学 健康科学部 看護学科 山口佳子氏 大野順子氏
出席者	県、市職員、看護大学教員 計 20人	県、市職員、看護大学教員 計 18人

②管理期保健師研修会

実施日	平成30年12月18日
会場	狭山保健所 大会議室
内容	「自治体における保健師人材育成推進のために」 ～管理期保健師に期待すること～ 講師 前埼玉県熊谷保健所 副所長 加藤静子 氏
出席者	県、市職員 計 19人

③新任期保健師研修会

実施日	平成30年9月27日	平成30年11月15日
会場	狭山保健所大会議室	飯能市精明地区行政センター
内容	「地域診断からみた保健師活動」(講義・演習) 講師 飯能市精明地区行政センター所長 井上直子 氏	
出席者	県、市職員9人	県、市職員10人

④中堅期保健師研修会（地域診断及び事業評価研修）

実施日	平成30年10月10日及び11月22日	
会場	狭山保健所大会議室	
内容	地域診断及び事業評価研修（講義・演習） 講師 東京家政大学 健康科学部看護学科 山口佳子 氏	
出席者	県、市職員	計 34人

⑤保健師専門研修会

	第1回	第2回
実施日	平成30年11月27日	平成31年3月8日
会場	入間市健康福祉センター	入間市健康福祉センター
内容	座談会・講義・グループワーク・模擬事例検討会 講義「相談技術の基礎」 ～効果的な情報収集・アセスメントをするために～ 講師 菊池臨床心理オフィス 臨床心理士 菊池礼子 氏	
出席者	県、市職員 計 18人	県、市職員 計 16人

4 生活衛生・薬事担当

(1) 生活環境の確保

ア 衛生的な生活環境の確保

(ア) 生活衛生関係営業施設数

	興行場			旅館		公衆浴場							
	映画館	スポーツ施設	その他	旅館・ホテル営業	簡易宿所営業	公営		私営					
						普通浴場	その他	普通浴場	個室付浴場	ヘルスセンター	サウナ風呂	スポーツ施設	その他
総数	4	3	10	72	15	0	19	3	1	12	6	25	3
所沢市	1	3	3	27	2	0	8	1	0	6	5	6	2
狭山市	0	0	1	15	0	0	5	1	0	0	0	3	0
入間市	2	0	2	10	0	0	1	1	0	1	0	5	0
飯能市	1	0	4	15	13	0	3	0	0	4	1	7	1
日高市	0	0	0	5	0	0	2	0	1	1	0	4	0

	理容所	美容所	クリーニング所			
			小計	一般	リネン・サブライ	取次所
総数	505	1,083	349	105	15	229
所沢市	201	485	157	43	2	112
狭山市	102	196	74	26	3	45
入間市	100	207	66	20	2	44
飯能市	60	135	22	6	2	14
日高市	42	60	30	10	6	14

(イ) 生活衛生関係営業の許認可数

		興行場	旅館	公衆浴場	理容所	美容所	クリーニング所
総数	78	3	2	2	6	57	8
所沢市	39	0	0	0	2	33	4
狭山市	8	0	0	1	0	6	1
入間市	11	0	0	1	2	8	0
飯能市	14	3	2	0	0	6	3
日高市	6	0	0	0	2	4	0

(ウ) 特定建築物の届出数

		興行場	百貨店	店舗	事務所	学校	旅館	その他
総数	138	8	21	29	38	19	6	17
所沢市	63	3	10	9	19	10	2	10
狭山市	27	1	3	4	11	3	1	4
入間市	28	3	4	12	3	4	0	2
飯能市	13	1	2	3	3	1	3	0
日高市	7	0	2	1	2	1	0	1

建築物事業の登録数

		清掃業	空気環境 測定業	空気調和 用ダクト 清掃業	飲料水水 質検査業	飲料水貯 水槽清掃 業	排水管清 掃業	ねずみ昆 虫等防除 業	環境衛生 総合管理 業
総数	56	9	2	1	1	23	8	4	8
所沢市	28	3	1	0	0	11	5	2	6
狭山市	13	1	0	1	1	5	2	2	1
入間市	6	2	1	0	0	3	0	0	0
飯能市	3	0	0	0	0	2	1	0	0
日高市	6	3	0	0	0	2	0	0	1

(エ) プール維持管理指導

遊泳用プールの衛生確保を図るため、埼玉県プールの安全安心要綱に基づき、開設届の受理及び監視指導を行った。

プール施設数及び監視件数

総数			公営		私営		監視	
	通年	季節	通年	季節	通年	季節	通年	季節
	21	10	2	9	19	1	21	22
所沢市	9	4	1	3	8	1	9	9
狭山市	4	2	1	2	3	0	4	4
入間市	6	2	0	2	6	0	6	5
飯能市	1	1	0	1	1	0	1	2
日高市	1	1	0	1	1	0	1	2

(オ) 衛生害虫などの相談件数

近年、建築様式、核家族化や夫婦共稼ぎ等住宅をとりまく環境の変化に伴い、室内外等に発生した虫の鑑別及び駆除方法などの相談が多い。

総数	ネズミ	ゴキブリ	ノミ	ダニ	ハチ	シロアリ	トコジラミ	カ	その他
59	13	2	0	3	7	0	0	2	32

イ 飲料水の水質検査

	総数	水道水						井戸等
		上水道	簡易水道	専用水道	簡易専用水道	自家用水道	その他の水道	
受付件数	76	6	0	0	1	0	4	65
総合判定不適合	26	0	0	0	0	0	0	26
総合判定適合	50	6	0	0	1	0	4	39
適合率 (%)	65.8	100	—	—	100	—	100	60.0

※不適合・適合とは、水道法の水質基準のうち11項目についての結果

ウ 動物の適正な飼育管理

狂犬病予防法、動物の愛護及び管理に関する条例に基づき、野犬等の収容及び苦情等に係る相談・指導をおこなった。

相談・指導では、飼い犬の引取依頼のほか、鳴き声、放し飼いなどの飼育管理上の相談が増加しており、あらゆる機会を捉えて適正な飼育管理について周知徹底を図っている。

(ア) 犬の収容・処分件数

抑留犬数	左内訳			処分内容		
	捕獲によるもの	取引依頼によるもの	薬物使用によるもの	動物指導センター送致数	飼主返還犬数	保健所処理数
58	56	2	0	18	41	0

(イ) 犬の登録・狂犬病予防注射数

項目	年度末現在登録頭数	新規登録頭数	注射済票交付数
総数	38,489	2,357	28,931
所沢市	15,381	921	11,050
狭山市	7,624	424	5,351
入間市	7,910	550	6,552
飯能市	4,296	243	3,391
日高市	3,278	219	2,587

(ウ) 犬の苦情等指導件数

	総数	捕獲依頼	引取依頼	放飼取締	咬傷事件関係	家畜農作物被害	糞尿関係	鳴き声関係	その他
		837	124	58	20	56	1	28	88
所沢市	241	21	24	8	19	0	3	33	133
狭山市	209	31	13	5	17	0	9	20	114
入間市	167	8	9	2	10	1	14	23	100
飯能市	107	11	4	5	9	0	1	7	70
日高市	64	9	5	0	1	0	0	5	44
その他	49	5	3	0	0	0	1	0	40

(エ) 第1種動物取扱業の業種別登録数

	登録数	販売	保管	貸出し	訓練	展示	譲飼業	競売幹旋業
		399	120	186	12	56	23	2
所沢市	151	42	81	3	18	7	0	0
狭山市	74	22	33	2	10	7	0	0
入間市	78	24	35	4	13	2	0	0
飯能市	42	14	18	1	7	1	1	0
日高市	54	18	19	2	8	6	1	0

(オ) 第2種動物取扱業の業種別届出数

	届出数	業種				
		譲渡し	保管	貸出	訓練	展示
		14	9	3	0	0
所沢市	7	5	1	0	0	1
狭山市	2	1	0	0	0	1
入間市	5	3	2	0	0	0
飯能市	0	0	0	0	0	0
日高市	0	0	0	0	0	0

(カ) 多頭の動物の飼養届出数

	施設数	新規
		11
所沢市	1	0
狭山市	0	0
入間市	3	0
飯能市	2	0
日高市	5	2

(キ) 特定動物の飼養又は保管の許可数

	施設数	新規	更新
	5	2	1
所沢市	3	1	1
狭山市	1	0	0
入間市	1	1	0
飯能市	0	0	0
日高市	0	0	0

(2) 食品の安全性の確保

人口の増加や食生活の変化により、飲食店や食料品店等の食品関係営業施設は大型化し、また営業形態も多様化している。営業施設は常に出退店を繰り返していると思われるが、総施設数はここ数年ほぼ横ばいの傾向にある。

これらの営業施設は、食品衛生法あるいは食品衛生に関する条例により許可を要す。

保健所では、食品の衛生的安全確保のため、営業許可申請時に施設の改善指導や衛生教育を行うほか、管内食品衛生協会の育成指導を強化して、施設や食品の自主管理の推進を行っている。

ア 食品関係施設数（業種数）

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
許可を要する施設	13,111	12,936	12,588	12,320	12,182
法律によるもの	10,417	10,351	10,249	10,181	10,182
条例によるもの	2,694	2,585	2,339	2,139	2,000
許可を要しない施設	669	699	731	741	786

イ 食品衛生法に基づく許可施設数（業種別）

食品衛生法第52条により、飲食店営業以下34業種について、次のとおり許可等を行った。

業種	狭山保健所				所沢市	狭山市	入間市	飯能市	日高市
	施設数	新規	更新	廃業	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数
総計	10,182	882	816	867	3,933	2,006	1,895	1,176	802
1 飲食店営業	5,702	526	409	503	2,275	1,052	1,002	702	379
一般食堂・レストラン等	2,242	203	169	176	949	408	391	341	153
仕出し屋・弁当屋	214	17	23	20	103	37	40	17	17
旅館	67	1	4	2	21	12	8	24	3
その他	3,179	305	213	305	1,202	595	563	320	206
2 菓子（パンを含む）製造	722	77	51	45	254	136	132	84	62
3 乳処理業	3	0	0	0	0	1	0	0	2
4 特別牛乳さく取処理業	0	0	0	0	0	0	0	0	0

業種	狭山保健所				所沢市	狭山市	入間市	飯能市	日高市
	施設数	新規	更新	廃業	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数
5 乳製品製造業	9	1	1	0	2	3	1	0	3
6 集乳業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7 魚介類販売業	593	45	52	42	242	112	126	62	48
8 魚介類せり売り業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9 魚肉ねり製品製造業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10 食品の冷凍又は冷蔵業	31	3	2	0	10	6	10	1	4
11 かん詰又はびん詰食品製造業	5	0	0	1	2	2	1	0	0
12 喫茶店営業	929	94	116	114	299	261	201	70	85
13 あん類製造業	1	0	0	0	1	0	0	0	0
14 アイスクリーム類製造業	6	2	1	0	0	1	1	1	3
15 乳類販売業	1,300	71	111	114	504	270	242	166	112
16 食肉処理業	33	2	2	0	12	4	10	2	5
17 食肉販売業	676	50	62	41	275	128	137	71	63
18 食肉製品製造業	9	2	0	0	3	1	1	0	4
19 乳酸菌飲料製造業	1	0	0	0	0	1	0	0	0
20 食用油脂製造業	6	1	0	0	2	0	3	0	1
21 マーガリン又はショートニング製造業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22 みそ製造業	7	1	0	0	0	0	2	2	3
23 醤油製造業	3	0	0	0	1	1	0	0	1
24 ソース類製造業	3	0	0	0	1	0	0	0	2
25 酒類製造業	6	0	0	0	2	0	0	3	1
26 豆腐製造業	22	1	2	1	9	2	5	3	3
27 納豆製造業	1	1	0	1	0	0	0	1	0
28 めん類製造業	46	0	5	3	17	12	5	6	6
29 そうざい製造業	51	5	2	2	16	7	12	2	14
30 添加物製造業(法)	12	0	0	0	5	4	3	0	0
31 清涼飲料水製造業	4	0	0	0	0	2	1	0	1
32 食品の放射線照射業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33 氷雪製造業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
34 氷雪販売業	1	0	0	0	1	0	0	0	0

※当所管内総数と各市の和との差は自動車等による営業許可数

ウ 条例に基づく許可施設数（業種数）

食品衛生法では許可が不要であるが、食品衛生に関する条例第2条により許可が必要な菓子種製造業以下5業種及び同第3条の行商の営業を行うものにおり許可等を行った。

業種	狭山保健所				所沢市	狭山市	入間市	飯能市	日高市
	施設数	新規	更新	廃業	施設数	施設数	施設数	施設数	施設数
総計	2,000	104	156	241	778	362	373	266	176
菓子種製造業	1	1	0	0	0	0	0	1	0
こんにゃく類製造業	12	0	0	1	2	0	2	5	3
つけ物製造業	42	4	6	4	19	3	5	7	8
魚介類加工業	8	0	0	1	1	1	3	1	2
食料品販売業	1,913	99	148	226	754	358	358	252	160
小計	1,976	104	154	232	776	362	368	266	173
魚介類行商	0	0	0	0	0	0	0	0	0
食料品行商	21	0	2	9	1	0	5	0	3
豆腐行商	3	0	0	0	1	0	0	0	0
小計	24	0	2	9	2	0	5	0	3

※当所管内総数と各市の和との差は自動車等による営業許可数

エ 食品衛生法及び条例の許可を要しない施設数

項 目		狭山保健所	所沢市	狭山市	入間市	飯能市	日高市
		785	308	148	135	129	65
給食施設	総数	546	241	117	85	65	38
	学校	116	49	16	25	22	4
	病院	71	27	21	10	8	5
	事業所	57	24	10	10	4	9
	その他	302	141	70	40	31	20
器具容器包装おもちゃの製造業		7	0	3	2	1	1
その他の製造業		232	67	28	48	63	26

オ 食中毒発生状況

平成30年度食中毒発生事件は給食施設1件、飲食店営業施設1件だった。

発生日	発生場所	喫食者数	患者数	原因食品	原因物質
5月25日	入間市	31	10	当該施設で調理提供されたサンチュ	腸管出血性大腸菌 O157
9月2日	所沢市	17	8	当該施設で提供された寿司(うに)	腸炎ビブリオ

カ 食中毒関連調査

県内の他の保健所及び他自治体等からの依頼による食中毒関連調査が44件あった。
内18件が食中毒と断定された。

キ 食品衛生講習会

近年、食品関連施設の大型化や流通の広域化により、大規模な食中毒事件の発生が危惧されるため、特に大規模製造調理施設等に対して重点的に衛生講習会を実施し、食中毒の予防に関する啓発を行った。

実施回数	受講者
27	1,435

(3) 医薬品・血液等の安全確保

ア 薬務関係施設数及び監視状況

薬局等医薬品販売業の許認可を行うとともに、医薬品等の有効性、安全性を確保するため、また医薬品や毒物劇物による危害の防止を図るため、随時監視指導を実施している。

業種		施設数					監視数		
		総数	所沢市	狭山市	入間市	飯能市		日高市	
計		2,156	938	468	442	195	113	483	
医薬品、 医療機器等法	小計	1,939	860	410	394	176	99	397	
	薬局	274	137	58	42	22	15	175	
	薬局製剤製造業・製造販売業	11	3	1	2	4	1	10	
	医薬品等 販売業	店舗販売業	133	48	29	25	19	12	70
		卸売販売業	36	16	5	11	3	1	14
		高度管理医療機器等 販売業・貸与業	288	143	57	50	25	13	122
		管理医療機器販売 業・貸与業	1,193	509	260	264	103	57	4
再生医療等製品販売 業	4	4	0	0	0	0	2		
毒物劇物取 締法	小計	217	78	58	48	19	14	86	
	毒物劇物製造業・輸 入業	21	5	7	8	0	1	10	
	販売業	一般販売業	160	63	40	34	14	9	65
		農薬用品目販売業	18	6	5	3	2	2	7
		特定品目販売業	4	1	1	1	1	0	3
	研究者	4	1	1	1	0	1	0	
	業務上 取扱者	10	2	4	1	2	1	1	

施設数は平成31年3月31日現在

イ 献血推進事業
献血団体表彰等

表彰の別	受賞者
厚生労働大臣表彰状	無
厚生労働大臣感謝状	無
埼玉県知事感謝状	株式会社医器研（狭山市） 株式会社狭山ゴルフクラブ（入間市） 個人（入間市）

ウ 麻薬取扱者数（平成31年3月31日現在）

業種	麻薬卸売業者	麻薬小売業者	麻薬施用者	麻薬管理者	麻薬研究者	計
免許数	1	225	1,271	89	14	1,600

エ 麻薬等の廃棄

麻薬、覚醒剤原料の廃棄届に基づく廃棄の立ち会いを行った。

(ア) 麻薬

業種	麻薬卸売業者	麻薬小売業者	麻薬施用者	麻薬管理者	麻薬研究者	計
件数	0	72	4	35	0	111

(イ) 覚醒剤原料

区分	病院	診療所	薬局	計
件数	2	0	9	11

オ 麻薬・覚醒剤等薬物乱用防止推進事業

社会問題の一つとなっている、危険ドラッグ、麻薬・覚醒剤等の薬物乱用を防止するため、埼玉県狭山保健所管内薬物乱用防止指導員協議会と協力して、各種の啓発活動を行った。

(ア) 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動6・26ヤング街頭キャンペーン

実施日	実施内容
平成30年6月30日	メットライフドーム入場門（3塁側）において、リーフレット等を配布して薬物乱用防止を呼びかけた。
平成30年 6月20日 ～ 7月19日	メットライフドームの電光掲示板及び場内放送にて薬物乱用防止を呼びかけた。

(イ) 「ダメ。ゼッタイ。」普及運動地域キャンペーン

実施日	実施内容
平成30年 6月20日 ～ 7月19日	薬剤師会、食品衛生協会等の協力のもと、会員店舗でポスターの掲示、リーフレットの配布、声かけ等の啓発活動を行った。

(ウ) その他の薬物乱用防止啓発活動

a 街頭等における啓発活動

リーフレット等を配布して薬物乱用防止を呼びかけた。

実施回数 9回

b 学校における啓発活動

小、中、高等学校で講習会を行った。

実施回数 21回

生徒等数 4, 130人

c 各種催し・会合・職場等における啓発活動

健康まつり、地域の集会等で薬物乱用防止の呼びかけや研修を行った。

実施回数 17回

5 食品監視担当

(1) 食品監視業務

食品衛生法に基づき、食品関係営業施設の監視・指導及び食品等の収去検査を行っている。関係施設への立入検査及び収去検査等については、監視指導計画を年度ごとに策定し、計画的かつ効率的に実施している。

重点監視対象施設として、高齢者や子供など食中毒のリスクが高い方々へ食事を提供する社会福祉施設や保育所等に設置された給食施設の他、大型食品製造施設、大量調理施設、量販店等を中心に監視指導を行っている。一方、不良食品の製造・流通及び販売時には、機動的に必要な調査等を実施している。

所管区域は、管内3保健所（狭山、坂戸及び東松山）の18市町村である。

管内の特性としては、埼玉県西部から中央部に位置し、東京のベッドタウンとして食品の一大消費地であると共に、近年、高齢者等社会福祉施設が増加している。また、管内から多方面へ高速道路が形成されているため、製品を広域に流通させる大規模食品製造工場が多い一方、丘陵地域や田園地域も多く残され、さといもやお茶など農産物の一大生産地でもある。

担当する業務

- (ア) 営業施設等の監視及び指導に関すること。
- (イ) 食品等の収去に関すること。
- (ウ) 営業者等からの報告徴取に関すること。
- (エ) 営業停止等の行政処分（食中毒関係は除く。）に関すること。
- (オ) 食品関係営業者等の衛生教育に関すること。
- (カ) HACCPシステムの普及に関すること。

(2) 食品監視業務の概要

ア 食品監視業務

監視対象業種数*		合計	東松山保健所	坂戸保健所	狭山保健所
		26,556	5,813	5,209	15,534
監視等	監視業種数	4,323	975	514	2,834
	無許可営業発見数	4	1	2	1

※ 監視対象業種数は、平成30年4月1日現在数

イ 監視時の違反食品等発見処理に関すること

食品営業施設の監視時に発見した食品表示の違反内容について、食品等事業者に対し不適正部分を伝え、改善した内容を確認した上で再発防止を指導している。

違反内容	対象施設数
表示関連（期限や製造者表示の不適正、無表示等）	40

ウ 食品等収去等試験検査（食品・項目別）

当所の食品衛生監視員が食品を収去や買上げを実施し、衛生研究所及び食肉衛生検査センターにおいて試験検査を行っている。

平成30年度は、食品368検体、延べ13,380項目について行った。

	収去検体数	検査延項目数	微生物学的検査	理化学的検査						不良検体数
			細菌	残留農薬	食品添加物	医薬品	残留動物用物質	アレルギー	その他	
魚介類	14	22	22							0
冷凍食品	無加熱摂取冷凍食品	6	12	12						0
	凍結直前加熱された加熱後摂取冷凍食品	11	22	22						0
	凍結直前未加熱の加熱後摂取冷凍食品	12	24	24						0
肉卵類及びその加工品 (かん詰・びん詰除く)	25	773	3				770			0
牛乳	2	32					30		2	0
穀類及びその加工品 (かん詰・びん詰を除く。)	29	235	72	147	14				2	0
野菜類・果物及びその加工品 (かん詰・びん詰を除く。)	94	11,363	18	11,319	14				12	0
菓子類	54	405	30		305	70				1
清涼飲料水	15	44	19		25					0
かん詰・びん詰食品	7	49			49					0
その他の食品	99	399	94		294		10	1		2
計	368	13,380	316	11,466	701	870	10	17		3

エ 収去時の違反食品等発見処理に関すること

食品の収去検査の結果、違反となった場合、その原因及び改善について指導している。

収去検査の食品名	違反内容
水菜と大根サラダ (カット野菜)	衛生規範不適合 (細菌数超過)
モンブラン (洋生菓子)	衛生規範不適合 (大腸菌群陽性)
コールスロー (カット野菜)	衛生規範不適合 (細菌数超過)

オ 通報等に基づく食品関係営業施設の調査に関すること

県民等から受理した異物や虫の混入、またカビ等の発生による不良食品に係る申出について、その不良食品の製造所における発生原因調査および再発防止を指導している。

また、食品衛生法違反に基づく回収命令に伴う違反食品の流通状況調査や、製造者の自主的な回収の申出に係る指導を行っている。

調査内容	対象施設数
不良食品(異物・虫の混入、カビの発生など)	16
回収命令に係る流通状況調査	22
表示関連	7
その他	6
計	51

カ 行政処分

県内他の保健所が実施した収去検査の結果、鶏卵から動物用医薬品(スルファモノメトキシ)が検出されました。この鶏卵の選別包装者(養鶏場)に対し、当該品の流通状況を確認するとともに回収命令(平成31年2月23日)を行いました。

キ 衛生教育

実施回数	派遣職員	受講者
17回	17人	1,211人

第3 統計資料（人口動態統計等）

1 人口の概況

（1）管内人口の推移及び伸び率

	昭和55年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
埼玉県	5,420,340	6,759,311	6,875,484	7,054,243	7,194,957	7,266,534	7,288,081	7,307,579	7,322,645
	100	124.7	126.8	130.1	132.7	134	134.4	134.8	135.0
管内	571,658	765,210	779,113	781,229	788,565	778,416	777,668	775,954	774,714
	100	133.8	136.2	136.6	137.9	136.1	136.0	135.7	135.5
所沢市	236,477	320,406	330,100	336,100	341,900	340,386	341,121	341,079	341,469
	100	135.4	139.5	142.1	144.5	143.9	144.2	144.2	144.3
飯能市	63,901	83,278	85,886	84,860	83,546	80,715	80,517	80,349	79,968
	100	130.3	134.4	132.7	130.7	126.3	126.0	125.7	125.1
旧飯能市	61,178	80,535	83,210						
	100	131.6	136						
旧名栗村	2,723	2,743	2,676						
	100	100.7	98.2						
狭山市	124,025	162,240	161,460	158,074	155,738	152,806	151,817	151,099	150,355
	100	130.8	130.1	127.4	125.5	123.2	122.4	121.8	121.2
入間市	104,034	144,402	147,909	148,576	149,879	148,390	147,984	147,546	147,274
	100	138.8	142.1	142.8	144	142.6	142.2	141.8	141.5
日高市	43,221	54,884	53,758	53,619	57,502	56,520	56,229	55,881	55,648
	100	126.9	124.3	124	133	130.7	130.0	129.3	128.7

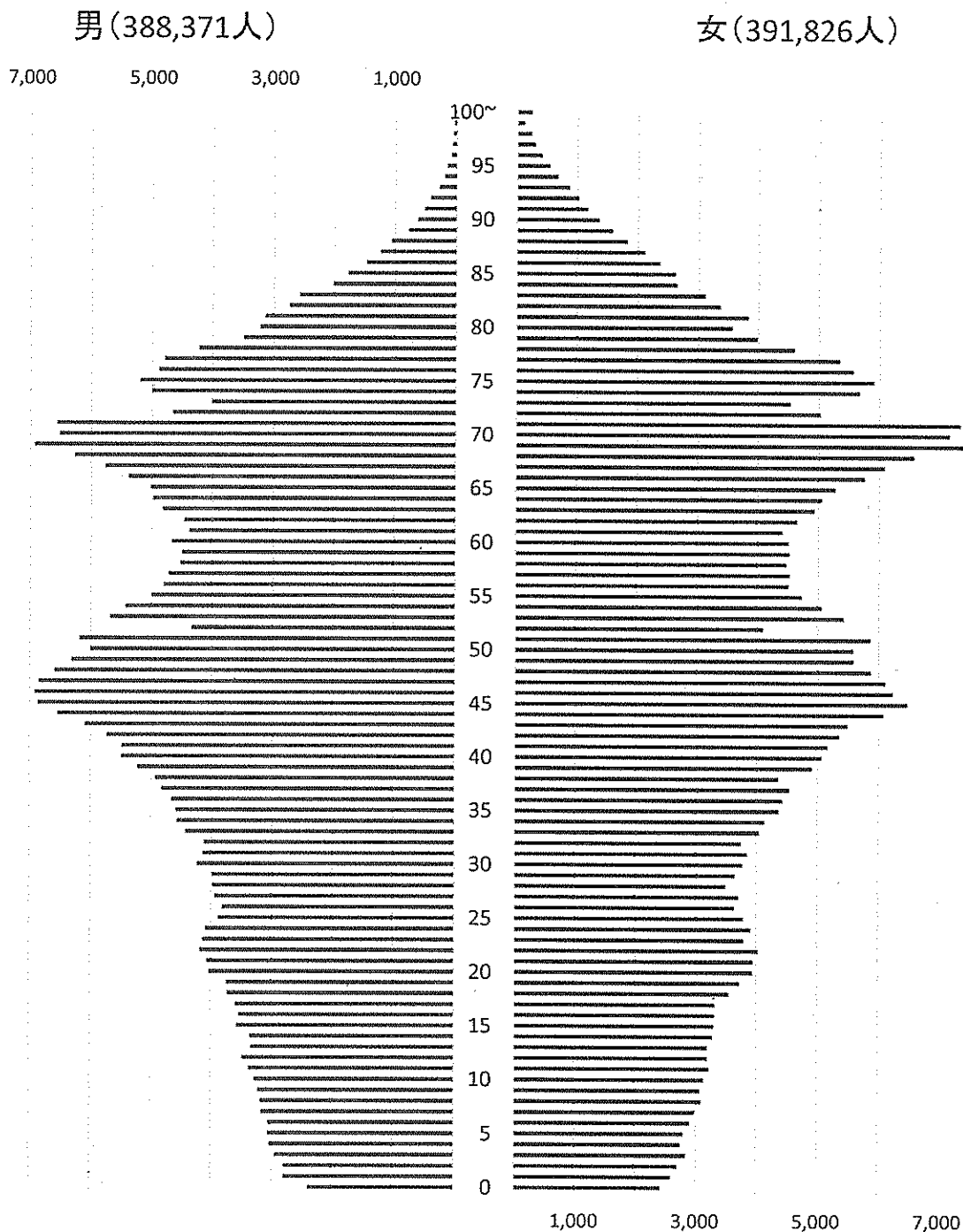
（注1）平成12年以前は保健医療政策課「埼玉県保健統計年報」、平成17年以後は統計課「埼玉県推計人口」による。（各年とも10月1日現在）

（注2）下欄は、昭和55年を100とした場合の人口の伸び率である。

（注3）平成12年以前の飯能市の数値は、旧飯能市と旧名栗村の数値を合算したものである。（平成17年1月1日名栗村が飯能市と合併した。）

(2) 管内人口ピラミッド (平成31年1月1日現在)

(総人口 780,197人)



資料：県統計課「埼玉県町（丁）字別人口調査」

2 人口動態統計

(1) 人口動態総覧（平成29年確定数）

	人口	出生数	死亡数	(再 掲)		死 産 数			周産期 死亡数	婚姻数	離婚数
				乳 児 死亡数	新生児 死亡数	総 数	自 然	人 工			
全 国	124,648,471	946,065	1,340,397	1,761	832	20,358	9,738	10,620	3,308	606,866	212,262
埼玉県	7,174,000	53,069	65,764	94	36	1,213	598	615	178	33,728	12,161
所沢市	341,079	2,511	3,080	5	2	51	26	25	12	1,537	530
飯能市	80,349	458	872	2	1	9	4	5	1	268	123
狭山市	151,099	936	1,511	2	-	23	13	10	3	669	221
入間市	147,546	946	1,268	1	-	31	15	16	1	557	239
日高市	55,881	304	580	-	-	7	6	1	3	177	81
狭山保健所	775,954	5,155	7,311	10	3	121	64	57	20	3,208	1,194

	合 計 特 殊 出生率	出生率	死亡率	(再 掲)		死 産 率			周産期 死亡率	婚姻率	離婚率
				乳児 死亡率	新生児 死亡率	総数	自然	人工			
全 国	1.43	7.6	10.8	1.9	0.9	21.1	10.1	11.0	3.5	4.9	1.70
埼玉県	1.36	7.4	9.2	1.8	0.7	22.3	11.0	11.3	3.3	4.7	1.70
所沢市	1.25	7.4	9.0	2.0	0.8	19.9	10.1	9.8	4.8	4.5	1.55
飯能市	1.15	5.7	10.9	4.4	2.2	19.3	8.6	10.7	2.2	3.3	1.53
狭山市	1.20	6.2	10.0	2.1	-	24.0	13.6	10.4	3.2	4.4	1.46
入間市	1.20	6.4	8.6	1.1	-	31.7	15.4	16.4	1.1	3.8	1.62
日高市	1.09	5.4	10.4	-	-	22.5	19.3	3.2	9.8	3.2	1.45
狭山保健所	1.21	6.6	9.4	1.9	0.6	22.9	12.1	10.8	3.9	4.1	1.54

(2) 出生

ア 出生率の年次推移 (人口千対)

	昭55	平7	平12	平17	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29
全 国	13.6	9.6	9.5	8.4	8.3	8.2	8.2	8.0	8.0	7.8	7.6
埼 玉 県	13.9	10.1	9.7	8.6	8.2	8.0	8.1	7.8	7.8	7.6	7.4
所 沢 市	14.4	10.5	10.0	8.8	8.1	7.8	7.9	7.8	8.1	7.3	7.4
飯 能 市	12.0	8.4	7.0	6.1	6.3	5.5	5.8	5.7	6.3	5.6	5.7
名 栗 村	5.1	6.9	4.1								
狭 山 市	14.8	9.4	8.8	7.4	7.2	7.0	6.6	6.6	6.4	6.4	6.2
入 間 市	14.3	9.7	8.5	8.1	7.1	7.1	6.9	6.8	6.9	6.5	6.4
日 高 市	14.8	7.5	7.7	7.3	7.8	7.5	6.5	5.9	6.3	5.6	5.4
保健所管内	14.4	10.5	10.0	9.1	7.5	7.3	7.1	7.0	7.2	6.7	6.6

※平成14年以前の保健所管内のデータは、所沢市のみ(所沢保健所管内)の数値、平成15年から17年のデータは所沢市、富士見市、ふじみ野市及び三芳町の合計(所沢保健所管内)、平成18年以降のデータは所沢市、狭山市、入間市、富士見市、ふじみ野市及び三芳町の合計(所沢保健所管内)、平成22年以降のデータは所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市の合計(狭山保健所管内)である。

イ 出生時の体重別出生数

(平成29年)

	計	1kg 未満	1 ~ 1.4	1.5 ~ 1.9	2 ~ 2.4	2.5 ~ 2.9	3 ~ 3.4	3.5 ~ 3.9	4 ~ 4.4	4.5 ~ 4.9	5kg 以上	不詳
埼 玉 県	53,069	163	219	597	4,014	20,732	21,887	5,049	385	20	-	3
所 沢 市	2,511	11	8	28	201	941	1,047	258	17	-	-	-
飯 能 市	458	1	-	1	41	181	200	31	3	-	-	-
狭 山 市	936	3	6	9	79	377	357	98	6	1	-	-
入 間 市	946	1	4	10	67	349	406	101	8	-	-	-
日 高 市	304	-	-	4	19	112	128	33	7	-	-	1
狭山保健所	5,155	16	18	52	407	1,960	2,138	521	41	1	-	1

ウ 母の年齢別出生数

(平成29年)

	総数	14歳 以下	15 ～ 19歳	20 ～ 24歳	25 ～ 29歳	30 ～ 34歳	35 ～ 39歳	40 ～ 44歳	45歳 以上	不詳
埼玉県	53,069	3	498	4,184	13,259	19,371	12,642	3,040	72	3
所沢市	2,511	-	14	174	607	922	625	166	3	-
飯能市	458	-	5	38	115	160	113	27	-	-
狭山市	936	-	13	83	261	311	208	57	3	-
入間市	946	-	8	89	244	323	215	65	2	-
日高市	304	-	4	27	69	94	92	18	-	-
狭山保健所	5,155	-	44	411	1,296	1,810	1,253	333	8	-

(3) 死亡

ア 死亡率の年次推移 (人口千対)

	昭55	平7	平12	平17	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29
全国	6.2	7.4	7.7	8.6	9.9	10.0	10.1	10.1	10.3	10.5	10.8
埼玉県	4.5	5.5	5.9	6.9	8.1	8.3	8.4	8.6	8.7	8.9	9.2
所沢市	3.5	4.7	4.9	6.2	7.5	7.7	7.5	7.6	8.0	8.4	9.0
飯能市	6.5	6.1	6.6	8.2	9.7	9.7	10.3	9.8	10.6	10.3	10.9
名栗村	13.2	13.5	22.4								
狭山市	3.1	4.8	5.3	6.5	8.0	8.5	8.9	9.0	9.6	9.6	10.0
入間市	3.8	4.7	5.0	6.6	7.6	7.3	7.6	8.0	8.3	8.6	8.6
日高市	4.7	6.1	6.3	7.3	9.2	8.9	8.7	8.9	9.3	9.6	10.4
保健所管内	3.5	4.7	4.9	6.2	8.0	8.1	8.2	8.3	8.8	9.0	9.4

※平成14年以前の保健所管内のデータは、所沢市のみ(所沢保健所管内)の数値、平成15年から17年のデータは所沢市、富士見市、ふじみ野市及び三芳町の合計(所沢保健所管内)、平成18年以降のデータは所沢市、狭山市、入間市、富士見市、ふじみ野市及び三芳町の合計(所沢保健所管内)、平成22年以降のデータは所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市の合計(狭山保健所管内)である。

イ 死因簡単分類別・市別死亡数

(平成29年)

コード	死 因	埼玉県	所沢市	飯能市	狭山市	入間市	日高市	狭山保健所
	総 数	65,764	3,080	872	1,511	1,268	580	7,311
01000	感染症及び寄生虫症	1,305	60	14	26	20	7	127
01100	腸管感染症	107	3	2	3	3	0	11
01200	結核	113	3	2	2	3	1	11
01201	呼吸器結核	92	3	2	1	3	1	10
01202	その他の結核	21	0	0	1	0	0	1
01300	敗血症	594	28	5	12	8	2	55
01400	ウイルス肝炎	180	5	1	4	2	1	13
01401	B型ウイルス肝炎	11	0	0	0	0	0	0
01402	C型ウイルス肝炎	154	5	1	4	1	1	12
01403	その他のウイルス肝炎	15	0	0	0	1	0	1
01500	ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 病	3	0	0	0	0	0	0
01600	その他の感染症及び寄生虫症	308	21	4	5	4	3	37
02000	新生物	19,837	965	217	462	414	162	2,220
02100	悪性新生物	19,181	937	210	453	400	157	2,157
02101	口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物	384	14	9	13	9	3	48
02102	食道の悪性新生物	632	27	10	15	13	1	66
02103	胃の悪性新生物	2,394	105	30	54	52	17	258
02104	結腸の悪性新生物	1,846	83	18	44	42	19	206
02105	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	844	39	7	24	19	6	95
02106	肝及び肝内胆管の悪性新生物	1,262	54	13	29	22	13	131
02107	胆のう及びその他の胆道の悪性新生物	863	48	17	22	28	6	121
02108	膵の悪性新生物	1,702	94	21	41	39	18	213
02109	喉頭の悪性新生物	36	1	0	1	1	0	3
02110	気管、気管支及び肺の悪性新生物	3,740	179	34	85	61	29	388
02111	皮膚の悪性新生物	80	3	0	1	2	1	7
02112	乳房の悪性新生物	829	56	3	26	15	7	107
02113	子宮の悪性新生物	385	13	3	10	9	2	37
02114	卵巣の悪性新生物	282	14	1	5	7	2	29
02115	前立腺の悪性新生物	658	27	12	20	21	6	86
02116	膀胱の悪性新生物	453	25	7	10	7	4	53
02117	中枢神経系の悪性新生物	122	3	1	1	1	3	9

(平成29年)

コード	死 因	埼玉県	所沢市	飯能市	狭山市	入間市	日高市	狭山保健所
02118	悪性リンパ種	601	37	5	12	8	2	64
02119	白血病	409	22	6	8	11	4	51
02120	その他のリンパ組織、造血組織及び 関連組織の悪性新生物	243	21	1	4	2	1	29
02121	その他の悪性新生物	1,416	72	12	28	31	13	156
02200	その他の新生物	656	28	7	9	14	5	63
02201	中枢神経系のその他の新生物	155	6	3	1	2	0	12
02202	中枢神経系を除くその他の新生物	501	22	4	8	12	5	51
03000	血液及び造血器の疾患並びに免疫機能 の障害	228	10	3	10	7	1	31
03100	貧血	113	5	1	6	3	0	15
03200	その他の血液及び造血器の疾患並び に免疫機能の障害	115	5	2	4	4	1	16
04000	内分泌、栄養及び代謝疾患	1,097	76	13	27	22	11	149
04100	糖尿病	678	52	10	13	14	7	96
04200	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	419	24	3	14	8	4	53
05000	精神及び行動の障害	930	35	6	18	23	7	89
05100	血管性及び詳細不明の認知症	838	31	5	15	22	7	80
05200	その他の精神及び行動の障害	92	4	1	3	1	0	9
06000	神経系の疾患	1,985	105	22	55	42	19	243
06100	髄膜炎	22	1	0	0	1	0	2
06200	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	120	6	1	4	5	1	17
06300	パーキンソン病	432	25	4	21	12	9	71
06400	アルツハイマー病	695	38	6	12	9	3	68
06500	その他の神経系の疾患	716	35	11	18	15	6	85
07000	眼及び付属器の疾患	0	0	0	0	0	0	0
08000	耳及び乳様突起の疾患	1	0	0	0	0	0	0
09000	循環器系の疾患	17,126	825	245	430	345	158	2,003
09100	高血圧性疾患	376	25	4	17	15	0	61
09101	高血圧性心疾患及び心腎疾患	185	11	4	7	6	0	28
09102	その他の高血圧性疾患	191	14	0	10	9	0	33
09200	心疾患(高血圧性を除く)	10,542	514	173	280	212	104	1,283
09201	慢性リウマチ性心疾患	103	6	0	2	1	3	12
09202	急性心筋梗塞	1,878	76	40	34	29	27	206
09203	その他の虚血性心疾患	2,951	156	54	92	86	27	415
09204	慢性非リウマチ性心内膜疾患	570	43	4	13	9	3	72

(平成29年)

コード	死 因	埼玉県	所沢市	飯能市	狭山市	入間市	日高市	狭山保健所
09205	心筋症	163	12	5	5	2	3	27
09206	不整脈及び伝導障害	1,144	50	13	21	11	11	106
09207	心不全	3,550	162	53	108	71	28	422
09208	その他の心疾患	183	9	4	5	3	2	23
09300	脳血管疾患	4,996	218	53	100	94	45	510
09301	くも膜下出血	641	37	8	12	11	8	76
09302	脳内出血	1,454	68	17	29	31	12	157
09303	脳梗塞	2,749	112	28	56	49	23	268
09304	その他の脳血管疾患	152	1	0	3	3	2	9
09400	大動脈瘤及び解離	913	54	12	25	21	5	117
09500	その他の循環器系の疾患	299	14	3	8	3	4	32
10000	呼吸器系の疾患	9,706	438	185	209	185	100	1,117
10100	インフルエンザ	135	10	3	2	3	4	22
10200	肺炎	5,452	247	101	129	104	52	633
10300	急性気管支炎	8	0	0	0	0	2	2
10400	慢性閉塞性肺疾患	860	40	11	20	20	11	102
10500	喘息	80	3	2	2	2	0	9
10600	その他の呼吸器系の疾患	3,171	138	68	56	56	31	349
11000	消化器系の疾患	2,469	112	25	48	35	21	241
11100	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	139	8	2	1	3	3	17
11200	ヘルニア及び腸閉塞	335	15	4	10	3	4	36
11300	肝疾患	830	38	6	16	13	4	77
11301	肝硬変(アルコール性を除く)	448	19	4	13	5	2	43
11302	その他の肝疾患	382	19	2	3	8	2	34
11400	その他の消化器系の疾患	1,165	51	13	21	16	10	111
12000	皮膚及び皮下組織の疾患	101	4	1	4	4	0	13
13000	筋骨格系及び結合組織の疾患	436	16	7	8	6	5	42
14000	腎尿路生殖器系の疾患	1,722	72	21	39	30	19	181
14100	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	150	8	1	3	0	1	13
14200	腎不全	1,203	48	18	28	21	16	131
14201	急性腎不全	126	6	3	3	3	1	16
14202	慢性腎不全	851	27	10	17	15	11	80
14203	詳細不明の腎不全	226	15	5	8	3	4	35

(平成29年)

コード	死 因	埼玉県	所沢市	飯能市	狭山市	入間市	日高市	狭山保健所
14300	その他の腎尿路生殖器系の疾患	369	16	2	8	9	2	37
15000	妊娠、分娩及び産じょく	4	1	0	0	0	0	1
16000	周産期に発生した病態	20	2	0	0	0	0	2
16100	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	2	0	0	0	0	0	0
16200	出産外傷	0	0	0	0	0	0	0
16300	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	10	0	0	0	0	0	0
16400	周産期に特異的な感染症	4	1	0	0	0	0	1
16500	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	1	1	0	0	0	0	1
16600	その他の周産期に発生した病態	3	0	0	0	0	0	0
17000	先天奇形、変形及び染色体異常	102	6	2	2	1	2	13
17100	神経系の先天奇形	4	0	0	0	0	0	0
17200	循環器系の先天奇形	42	2	1	0	0	0	3
17201	心臓の先天奇形	24	1	1	0	0	0	2
17202	その他の循環器系の先天奇形	18	1	0	0	0	0	1
17300	消化器系の先天奇形	5	0	0	0	0	0	0
17400	その他の先天奇形及び変形	33	4	1	1	1	2	9
17500	染色体異常、他に分類されないもの	18	0	0	1	0	0	1
18000	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,815	224	78	98	90	44	534
18100	老衰	3,880	185	63	71	71	38	428
18200	乳幼児突然死症候群	8	0	1	0	1	0	2
18300	その他の症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,927	39	14	27	18	6	104
20000	傷病及び死亡の外因	2,880	129	33	75	44	24	305
20100	不慮の事故	1,462	60	16	31	25	9	141
20101	交通事故	239	8	1	6	4	4	23
20102	転倒・転落	396	21	5	10	8	1	45
20103	不慮の溺死及び溺水	134	5	5	1	2	0	13
20104	不慮の窒息	371	15	1	9	5	2	32
20105	煙、火及び火災への曝露	49	0	1	1	0	1	3
20106	有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露	20	2	1	0	2	0	5
20107	その他の不慮の事故	253	9	2	4	4	1	20
20200	自殺	1,175	58	13	39	16	12	138
20300	他殺	15	1	0	0	0	0	1
20400	その他の外因	228	10	4	5	3	3	25

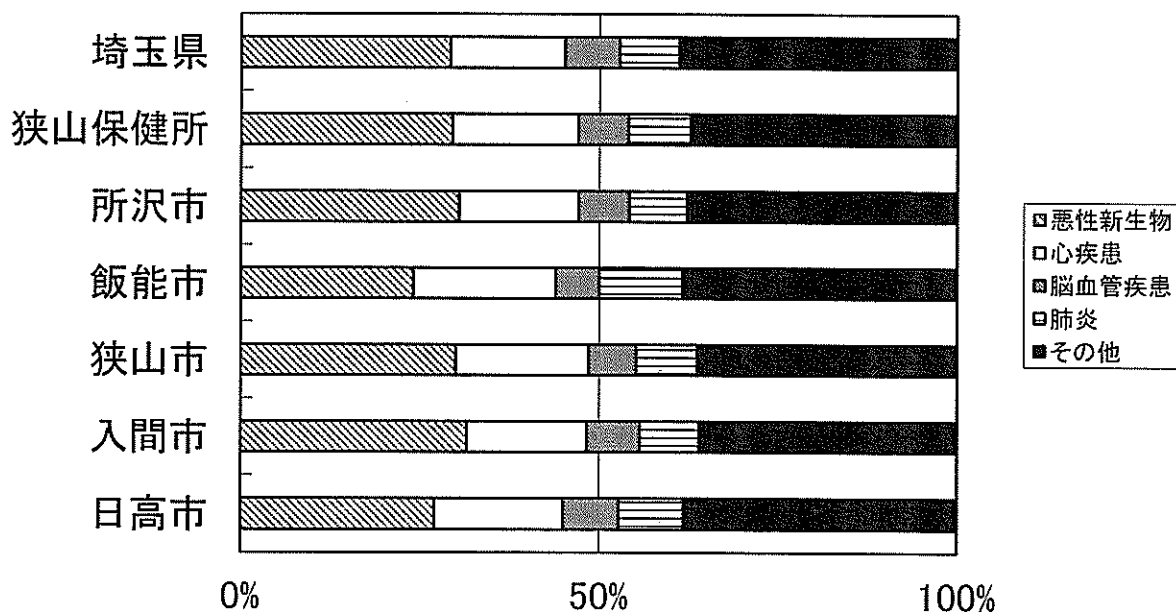
ウ 市別死因順位と割合

(平成29年)

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
埼玉県	悪性新生物 29.1	心疾患 16.0	肺炎 8.2	脳血管疾患 7.5	老衰 5.8
狭山保健所	悪性新生物 29.5	心疾患 17.5	肺炎 8.6	脳血管疾患 6.9	老衰 5.8
所沢市	悪性新生物 30.4	心疾患 16.6	肺炎 8.0	脳血管疾患 7.0	老衰 6.0
飯能市	悪性新生物 24.0	心疾患 19.8	肺炎 11.5	その他の呼吸器系の疾患 7.7	老衰 7.2
狭山市	悪性新生物 29.9	心疾患 18.5	肺炎 8.5	脳血管疾患 6.6	老衰 4.6
入間市	悪性新生物 31.5	心疾患 16.7	肺炎 8.2	脳血管疾患 7.4	老衰 5.5
日高市	悪性新生物 27.0	心疾患 15.3	肺炎 8.9	脳血管疾患 7.7	老衰 6.5

(注) 心疾患は、高血圧性を除く。

市別主要死因構成割合



エ 乳児死亡率の年次推移（出生千対）

	昭55	平7	平12	平17	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29
全 国	7.5	4.3	3.2	2.8	2.6	2.4	2.3	2.3	2.2	2.1	2.1	1.9	2.0	1.9
埼 玉 県	7.4	3.8	3.2	2.3	2.7	2.3	2.2	1.9	2.0	2.0	2.1	2.0	2.2	1.8
所 沢 市	7.1	5.7	3.9	2.0	2.0	1.0	2.1	2.2	1.1	2.9	1.5	0.7	2.8	2.0
飯 能 市	5.5	3.0	5.2	1.9	6.0	1.9	3.5	-	-	2.1	-	2.0	-	4.4
名 栗 村	-	-	-	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
狭 山 市	5.4	4.6	5.6	0.9	2.5	2.7	4.4	-	4.6	2.0	2.0	2.1	1.0	2.1
入 間 市	6.7	5.7	1.6	1.7	2.6	1.8	0.9	0.9	2.8	1.9	1.0	3.0	6.3	1.1
日 高 市	7.8	2.4	-	-	4.5	-	2.3	2.2	-	8.1	-	-	-	-
保健所管内	7.1	5.7	3.9	1.7	2.8	1.6	2.5	1.3	1.9	2.9	1.3	1.4	2.7	1.9

オ 新生児死亡率の年次推移（出生千対）

	昭55	平7	平12	平17	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29
全 国	4.9	2.2	1.8	1.4	1.2	1.2	1.1	1.1	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9
埼 玉 県	4.9	1.8	1.6	1.0	1.1	1.1	1.0	0.8	0.9	0.9	1.0	0.9	1.0	0.7
所 沢 市	3.2	2.4	1.5	0.7	0.7	1.0	0.7	1.4	0.7	1.1	0.8	0.4	1.2	0.8
飯 能 市	2.7	1.5	5.2	1.9	4.0	-	3.5	-	-	-	-	-	-	2.2
名 栗 村	-	-	-	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
狭 山 市	2.2	1.3	2.8	-	-	1.8	-	-	1.8	1.0	-	-	-	-
入 間 市	4.0	3.6	0.8	0.8	0.9	0.9	-	0.9	-	1.9	1.0	3.0	2.1	-
日 高 市	7.8	2.4	-	-	2.3	-	-	2.2	-	2.7	-	-	-	-
保健所管内	3.2	2.4	1.5	0.6	0.8	1.1	0.7	1.0	0.7	1.3	0.5	0.7	1.0	0.6

※平成14年以前の保健所管内のデータは、所沢市のみ（所沢保健所管内）の数値、平成15年から17年のデータは所沢市、富士見市、ふじみ野市及び三芳町の合計（所沢保健所管内）、平成18年以降のデータは所沢市、狭山市、入間市、富士見市、ふじみ野市及び三芳町の合計（所沢保健所管内）、平成22年以降のデータは所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市の合計（狭山保健所管内）である。

(4) 死産（死産率の年次推移：出産千対）

	昭55	平7	平12	平17	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29
全 国	46.8	32.1	31.2	29.1	23.9	23.4	22.9	22.9	22.0	21.0	21.1
埼 玉 県	35.8	27.9	27.9	26.7	23.4	23.8	23.8	24.2	23.5	21.2	22.3
所 沢 市	29.7	21.9	26.8	19.7	18.3	25.1	18.8	19.6	20.0	21.5	19.9
飯 能 市	36.8	20.3	20.2	22.8	26.0	25.5	30.7	16.8	13.6	26.0	19.3
名 栗 村	-	-	-	/	/	/	/	/	/	/	/
狭 山 市	30.1	24.3	23.3	22.7	29.5	31.2	32.6	36.4	40.2	28.0	24.0
入 間 市	33.8	20.3	35.9	21.2	32.1	23.8	22.8	31.5	25.9	21.4	31.7
日 高 市	28.9	44.0	25.9	27.7	19.6	22.8	16.0	23.1	22.2	18.8	22.5
保健所管内	29.7	21.9	26.8	20.9	23.7	25.9	22.9	24.9	24.2	22.9	22.9

(5) 婚姻（婚姻率の年次推移：人口千対）

	昭55	平7	平12	平17	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29
全 国	6.7	6.4	6.4	5.7	5.2	5.3	5.3	5.1	5.1	5.0	4.9
埼 玉 県	6.4	6.9	6.6	5.8	5.1	5.2	5.1	4.9	4.9	4.8	4.7
所 沢 市	7.0	7.4	7.0	6.2	5.2	5.4	5.1	5.0	4.9	4.5	4.5
飯 能 市	6.1	5.2	4.8	4.0	3.7	3.9	3.7	3.6	3.7	3.6	3.3
名 栗 村	5.1	4.0	1.9	/	/	/	/	/	/	/	/
狭 山 市	6.5	6.1	6.3	5.6	4.5	4.8	4.8	4.5	4.5	4.1	4.4
入 間 市	6.0	5.6	5.7	4.9	4.3	4.2	4.0	4.4	4.2	3.9	3.8
日 高 市	5.3	4.4	4.7	4.9	3.7	3.4	3.7	3.7	3.5	3.5	3.2
保健所管内	7.0	7.4	7.0	6.0	4.6	4.7	4.6	4.6	4.4	4.1	4.1

※平成14年以前の保健所管内のデータは、所沢市のみ（所沢保健所管内）の数値、平成15年から17年のデータは所沢市、富士見市、ふじみ野市及び三芳町の合計（所沢保健所管内）、平成18年以降のデータは所沢市、狭山市、入間市、富士見市、ふじみ野市及び三芳町の合計（所沢保健所管内）、平成22年以降のデータは所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市の合計（狭山保健所管内）である。

(6) 離婚（離婚率の年次推移：人口千対）

	昭55	平7	平12	平17	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29
全 国	1.22	1.60	2.10	2.08	1.87	1.87	1.84	1.77	1.81	1.73	1.70
埼 玉 県	1.09	1.65	2.09	2.08	1.90	1.89	1.84	1.75	1.77	1.74	1.70
所 沢 市	0.98	1.71	1.95	2.02	1.95	1.95	1.80	1.71	1.62	1.74	1.55
飯 能 市	0.82	1.38	1.81	1.73	1.70	1.68	1.59	1.67	1.63	1.54	1.53
名 栗 村	-	0.73	3.36								
狭 山 市	1.02	1.69	1.91	2.04	1.70	1.69	1.66	1.68	1.70	1.53	1.46
入 間 市	1.20	1.43	1.87	2.22	1.85	1.84	1.75	1.70	1.61	1.91	1.62
日 高 市	0.93	1.11	1.92	2.15	2.00	1.64	1.57	1.82	1.85	1.62	1.45
保健所管内	0.98	1.71	1.95	2.06	1.86	1.83	1.72	1.71	1.65	1.71	1.54

※平成14年以前の保健所管内のデータは、所沢市のみ（所沢保健所管内）の数値、平成15年から17年のデータは所沢市、富士見市、ふじみ野市及び三芳町の合計（所沢保健所管内）、平成18年以降のデータは所沢市、狭山市、入間市、富士見市、ふじみ野市及び三芳町の合計（所沢保健所管内）、平成22年以降のデータは所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市の合計（狭山保健所管内）である。

* 比率の解説

$$(1) \text{出生率} = \frac{\text{1年間の出生数}}{\text{10月1日の人口}} \times 1,000$$

$$(2) \text{死亡率} = \frac{\text{1年間の死亡数}}{\text{10月1日の人口}} \times 1,000$$

$$(3) \text{死因別死亡率} = \frac{\text{1年間の死因別死亡数}}{\text{10月1日の人口}} \times 100,000$$

$$(4) \text{乳児死亡率} = \frac{\text{1年間の乳児(生後1年未満)死亡数}}{\text{1年間の出生数}} \times 1,000$$

$$(5) \text{新生児死亡率} = \frac{\text{1年間の新生児(生後4週未満)死亡数}}{\text{1年間の出生数}} \times 1,000$$

$$(6) \text{死産率} = \frac{\text{1年間の死産数} \quad ※}{\text{1年間の出産数(出生数+死産数)}} \times 1,000$$

※ 自然死産率、人工死産率は、「死産数」を、それぞれ「自然死産数」、「人工死産数」とする。

$$(7) \text{周産期死亡率} = \frac{\begin{matrix} ※1 \\ \text{妊娠満22週以後の死産数+早期新生児(生後1週未満)死亡数} \end{matrix}}{\begin{matrix} ※2 \\ \text{1年間の出産数(出生数+妊娠満22週以後の死産数)} \end{matrix}} \times 1,000$$

※1 平成6年以前は、妊娠満28週以後の死産数+早期新生児死亡数

※2 平成6年以前は、1年間の出生数

$$(8) \text{婚姻率} = \frac{\text{1年間の婚姻数}}{\text{10月1日の人口}} \times 1,000$$

$$(9) \text{離婚率} = \frac{\text{1年間の離婚数}}{\text{10月1日の人口}} \times 1,000$$

$$(10) \text{合計特殊出生率} = \left[\frac{\text{母の年齢階級別出生数}}{\text{年齢階級別女子人口}} \right] \text{15歳~49歳までの合計}$$

(凡例)

- 計数のない場合
- 0.0 数値が0.05未満の場合
- … 計数不明の場合

令和元年度 事業概要

令和元年8月発行

編集・発行／埼玉県狭山保健所

〒350-1324 埼玉県狭山市稲荷山2-16-1

TEL 04-2954-6212

FAX 04-2954-7535
